



俺  
が  
雌  
に  
し  
ま  
す  
3

勝  
ち  
気  
な  
母  
親



## これまでのあらすじ

会社の自宅を往復する毎日を過ごしていた善野。転職してきた柊とバディとなったことをきっかけに、徐々に親密な仲に。その後、婚約者となる。

その後、仕事に追われる日々の中で、二人の関係は安定していたものの、夜の営みはすっかりご無沙汰になっていた。

そんなある日、仕事が一段落したことを機に、柊は「お礼」として善野を〇どもを交えた家族旅行へと誘う。

二人にとっては初めての「家族旅行」。柊の〇どもとともに、楽しい時間を過ごすことで、善野は「父親」としての自分の役割を実感していく。

そして旅行の夜、〇どもが寝静まった後——。静かなホテルの一室で、二人だけの時間が訪れる。



## 登場人物



### 善野 正太郎(35)

会社員・法人営業。柊真紀の婚約者。会社と自宅を往復する毎日だったが、転職してきた柊真紀とバディになったことをきっかけに、徐々に親密な仲に。その後、婚約者となる。勝ち気で無理をしがちな真紀を心配しており、声をかけたが、柊真紀の怒りを買ってしまう…



### 柊 真紀(34)

会社員・法人営業。善野正太郎の婚約者。一児の母。元夫の不倫が原因で離婚。以降、男性嫌いになる。責任感が強く仕事はできるが、性格難のため会社を転々としていた。ハラスメントに敏感で、自身のデカ乳に視線が集まるたびにセクハラ認定している。

シングルマザーで息子・息子の将来のために仕事熱心であり、勝ち気な性格から善野正太郎と喧嘩をしてしまう…



### 橘圭介(45)

柊真紀の元夫。柊・善野の取引先の代表取締役社長。取引先企業に柊真紀がいることを知り、仕事を依頼する。







以前の母さんは  
いつも忙しそうで  
疲れた顔ばかり  
していた

ただいま…

僕のために  
必死に  
働いてたからだ

なぜ母さんが  
忙しかったと  
いうと

僕の知らない  
お父さんが

他の女の人と  
仲良くしてた  
ことが原因らしい





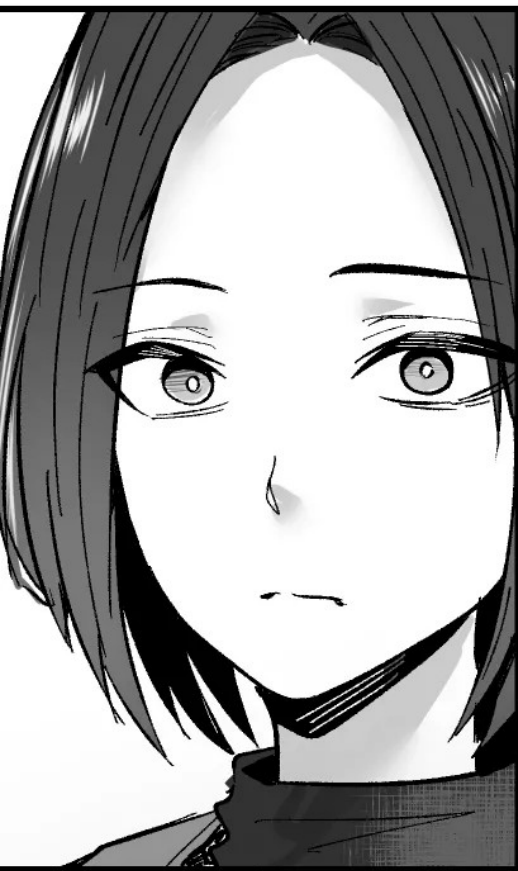
お手洗い  
行ってきます

はい



柊真紀です  
よろしく  
お願いします

そのせいで  
男の人をあんまり  
信用できなくなつて――



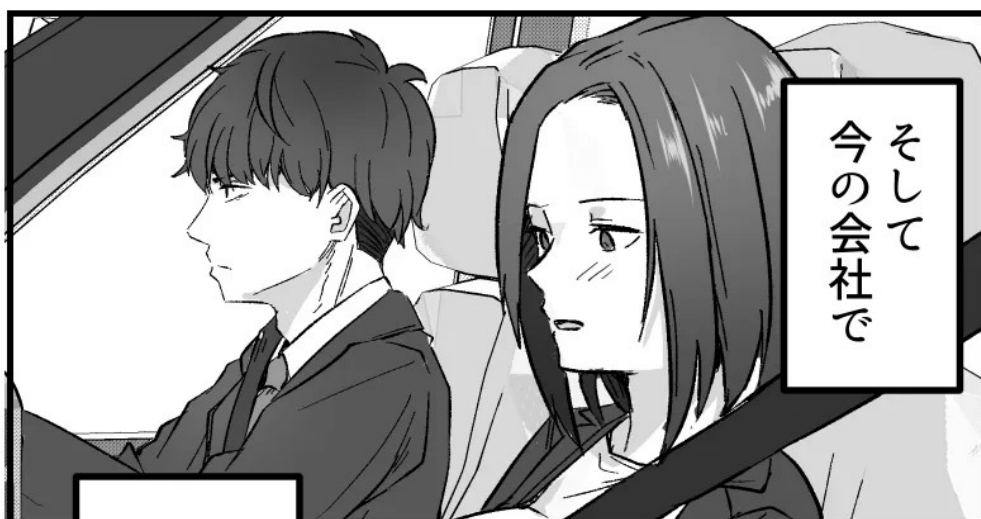
今度こそ  
この職場で  
...!!



見た？  
柊さんの乳

デカすぎだろ  
抱きて〜

このまま  
酔わせて  
ホテル直行だなW







母さんは変わった

あ

や

これまで  
見たことがない  
母さんに――

夜になると母さんは  
正太郎と楽しそうに  
じゃれ合っている

あゝゝ

やゝゝゝ

まるでプロレス  
みたいだ

あゝ

はゝ

Aゝゝ

あゝゝ

あゝゝ

はゝ

はゝ

母さんに  
あんな一面が  
あるなんて

スゴゝゝ

んゝゝ

んゝゝ

ズン

ズン



母さんは  
いつも負けてて  
大声で叫んで  
いるのが

僕の部屋まで  
聞こえてくる

いつも「勝ち気」な  
母さんだけど  
正太郎が相手だと  
弱いらしい

絶頂っ  
ちやった…♡

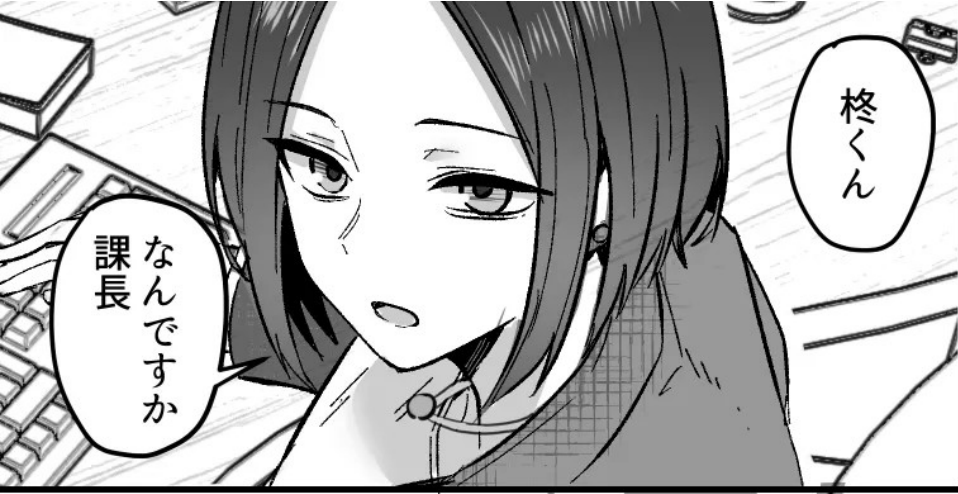


そんな声を  
聞いていると

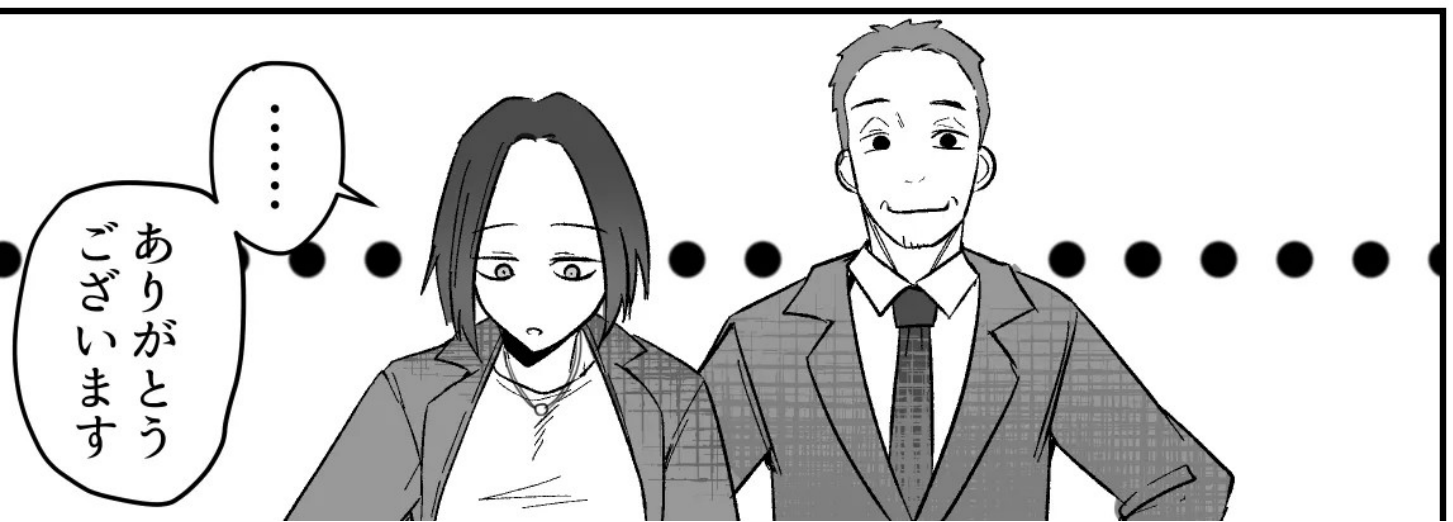
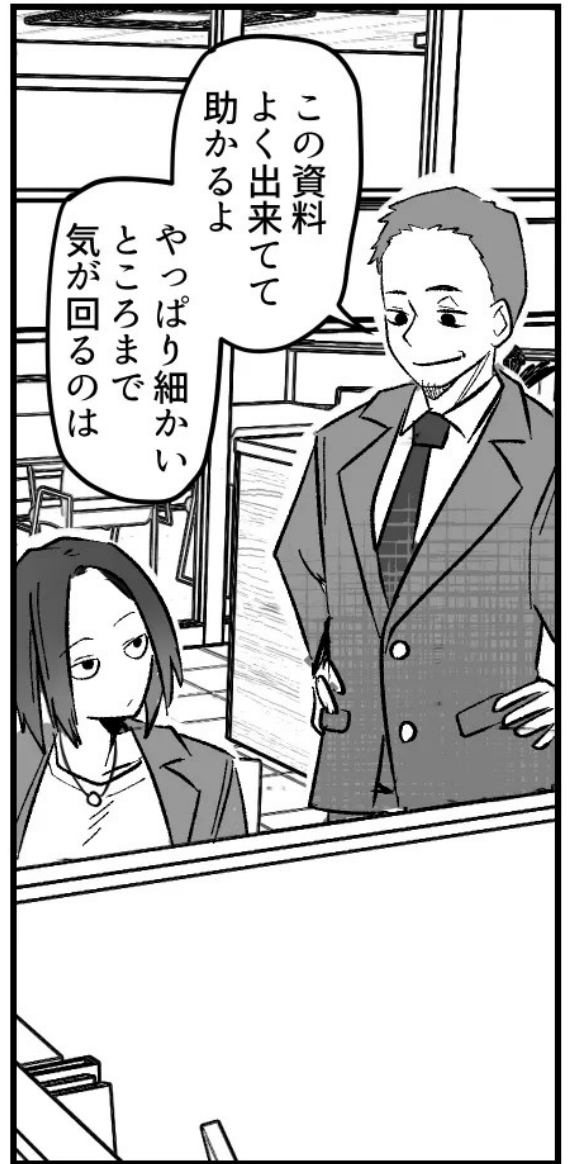


おちんちんがムズムズ  
してくるのは  
何でなんだろう……





柊くん





それにしても  
最近雰囲気  
変わったよね？

なんか……  
柔らかくなった  
っていうか

色気が出てきた  
っていうか？



男って  
そういうのに  
弱いんだよね

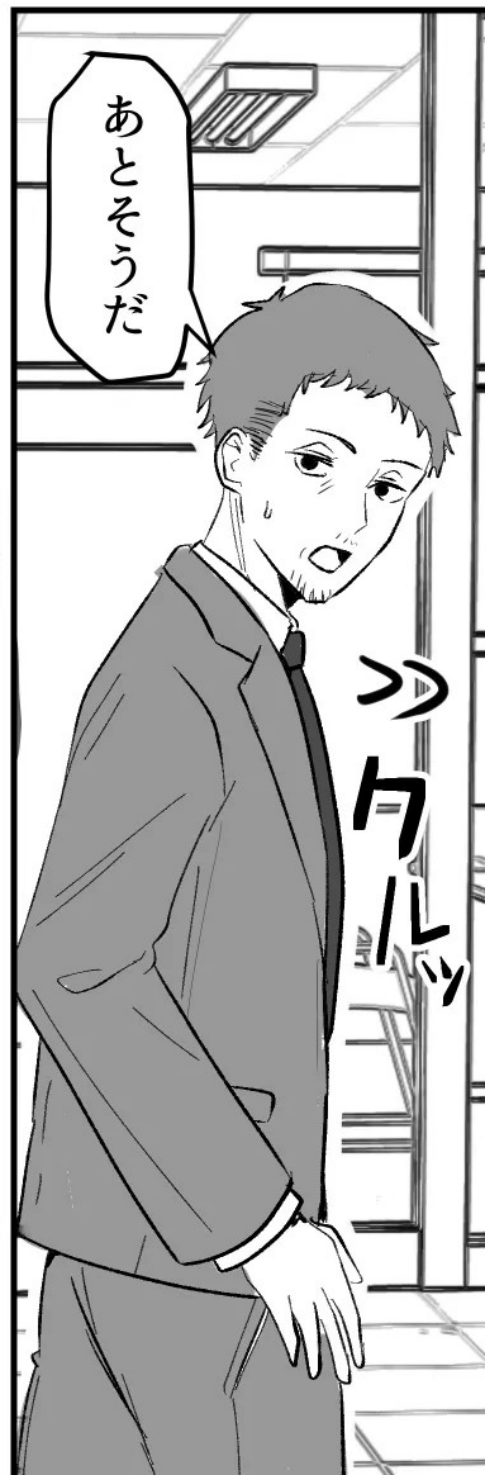
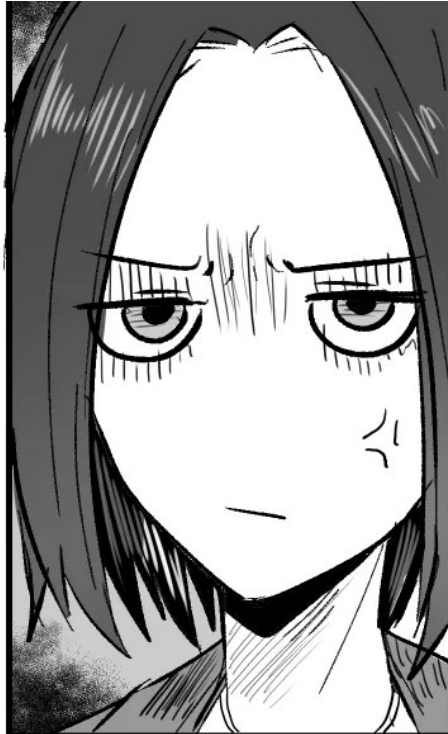
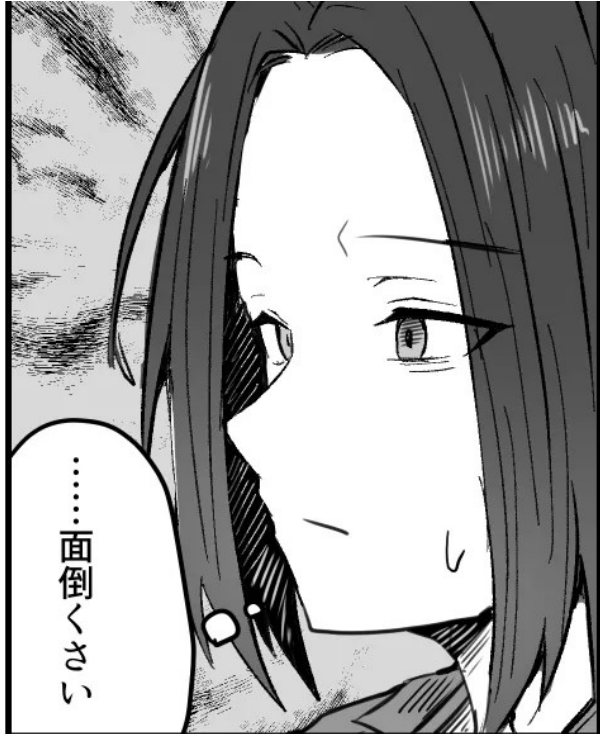


ほら  
前はちよつと  
ピリピリ  
してたけどさ

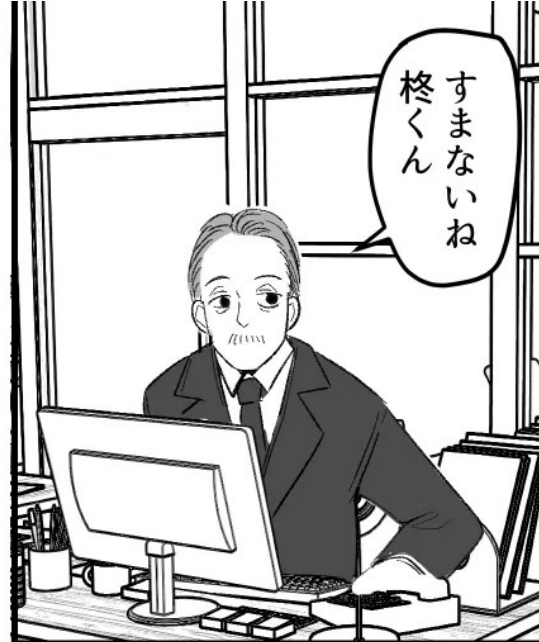
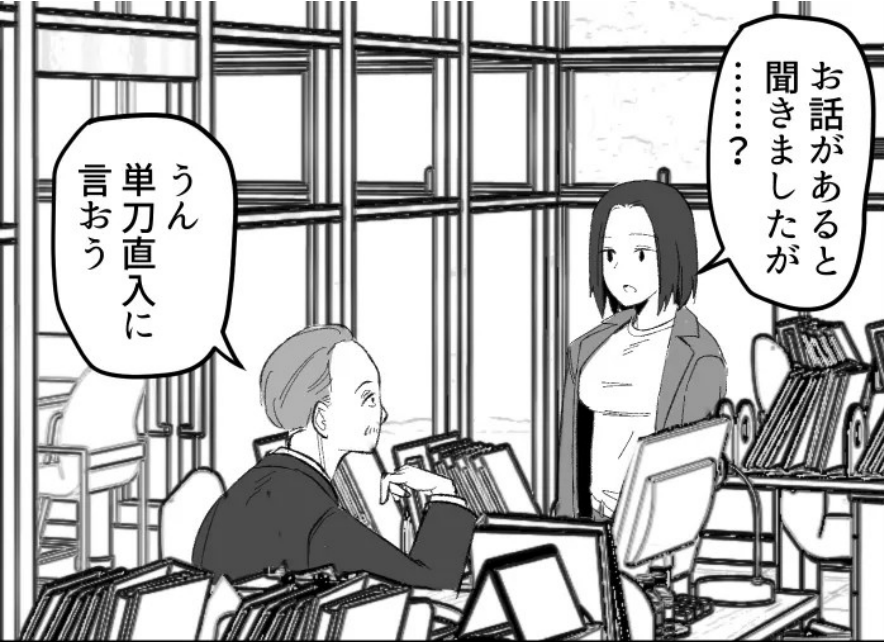
やっぱり女性は  
笑顔が一番だよ

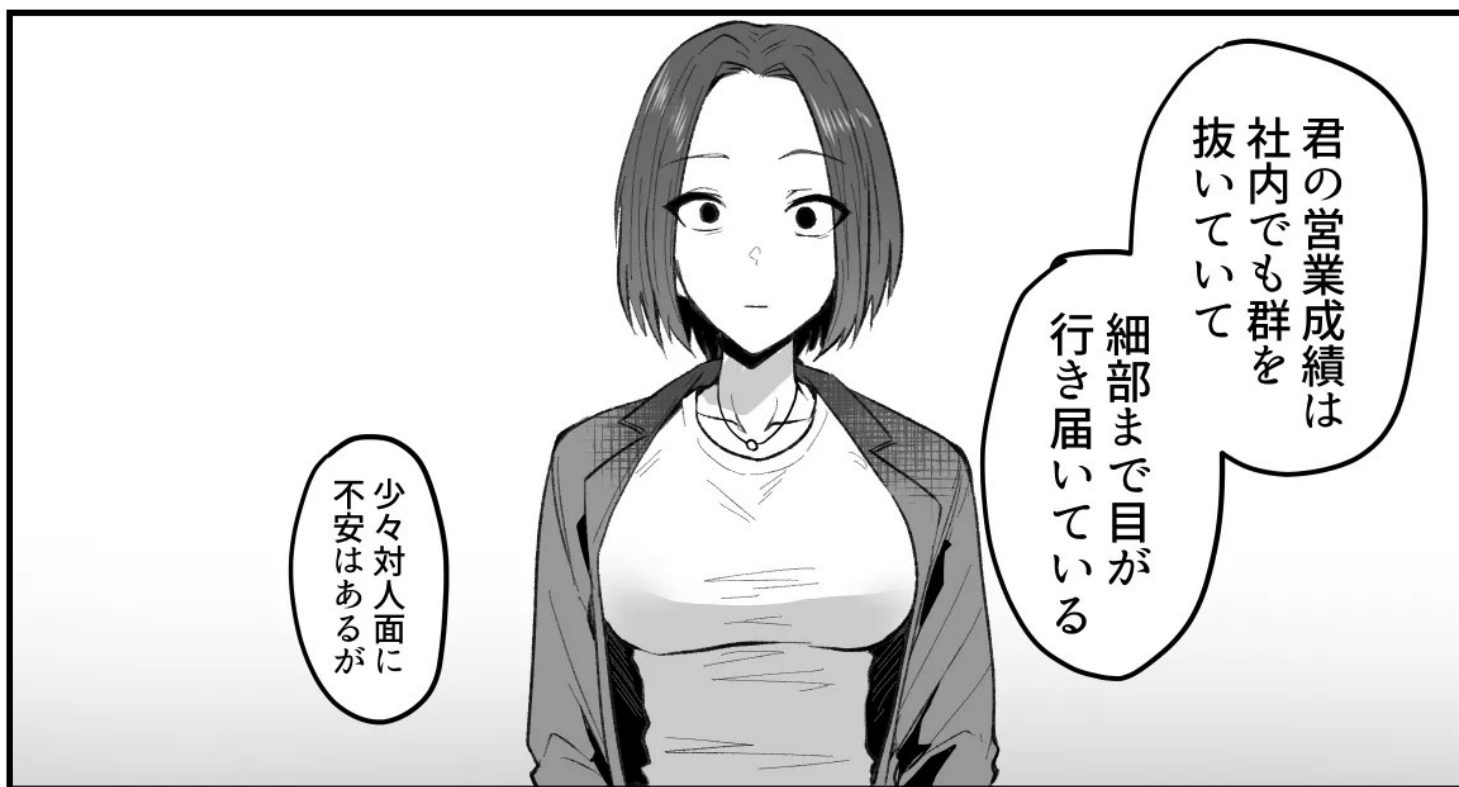














Tachibana Industries  
事業推進企画書

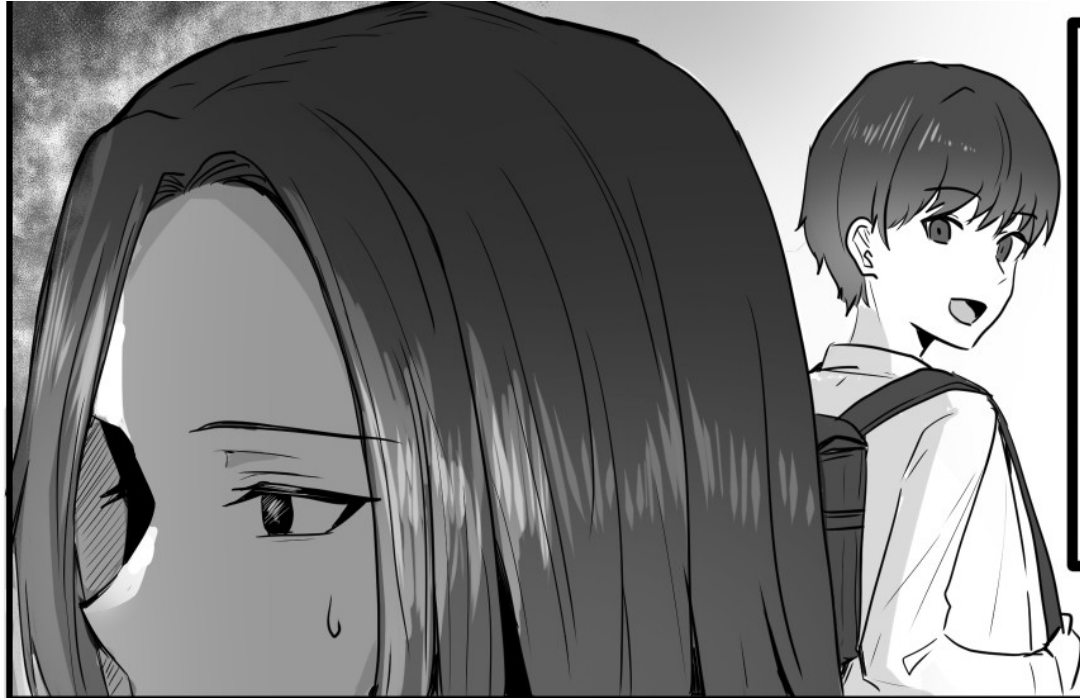
それにね  
この大型案件が  
成功した暁には

私が……？  
そんな重要な  
案件を……？



課長職の  
ポジションを  
用意しようと  
思っている

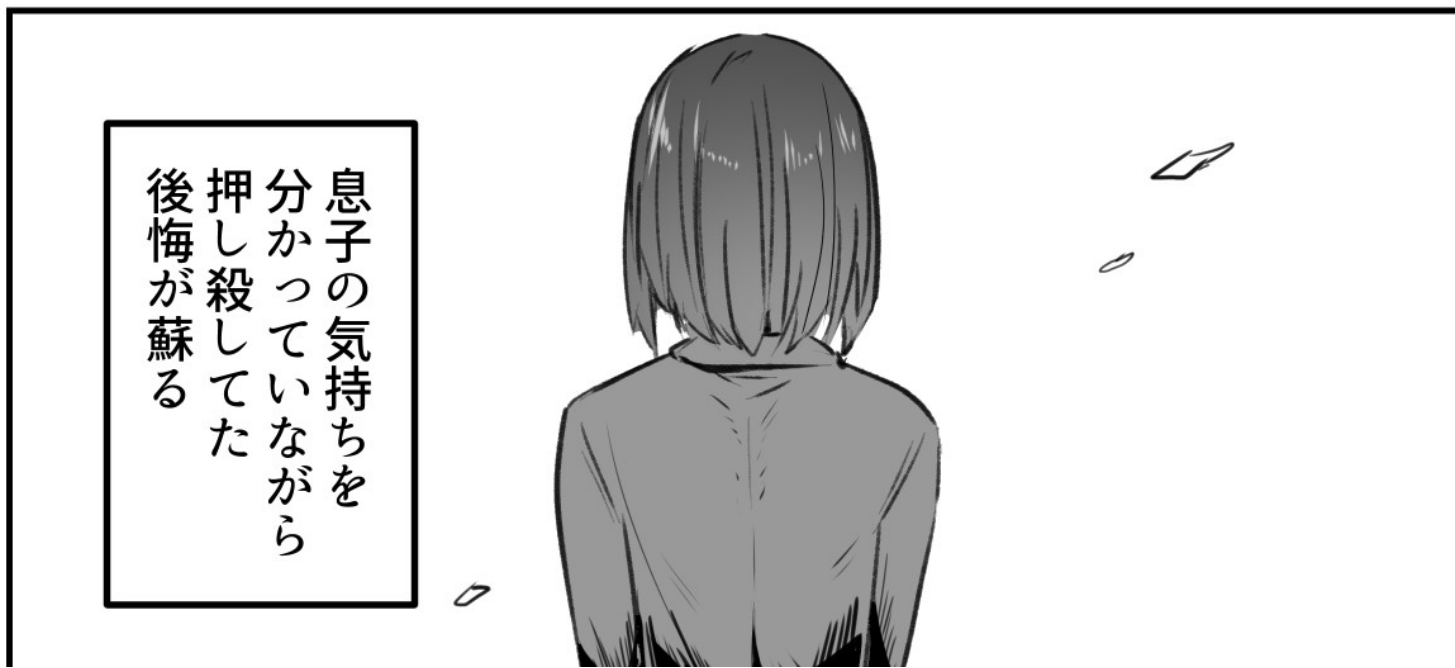
課長職……！



終は仕事に  
追われる日々の中  
常に頭の片隅には  
息子・勇斗の  
ことがあった



離婚が原因で  
息子には辛い思い  
をさせしまった  
自覚が強いからだ



息子の気持ちを  
分かっていながら  
押し殺してた  
後悔が蘇る



さびしい思いは  
もうさせたくない……

今は正太郎もいる

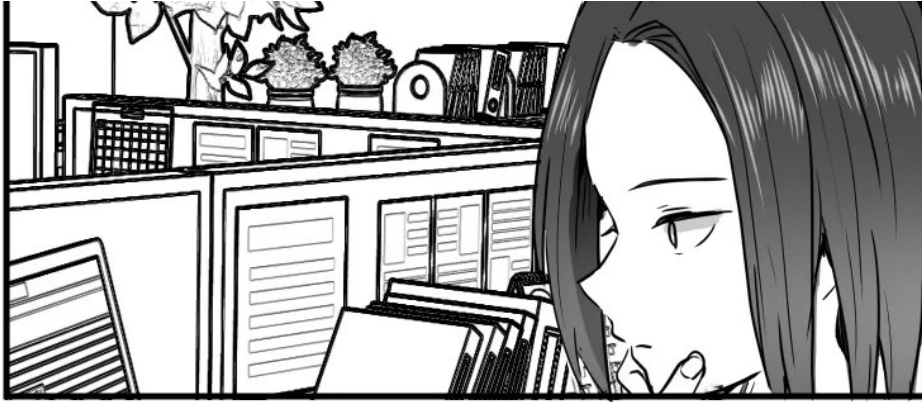
もつと収入が  
増えれば  
勇斗の将来の  
選択肢が広がる

務めさせて  
いただきます

絶好<sup>チャンス</sup>の機会だ

ニヤリ

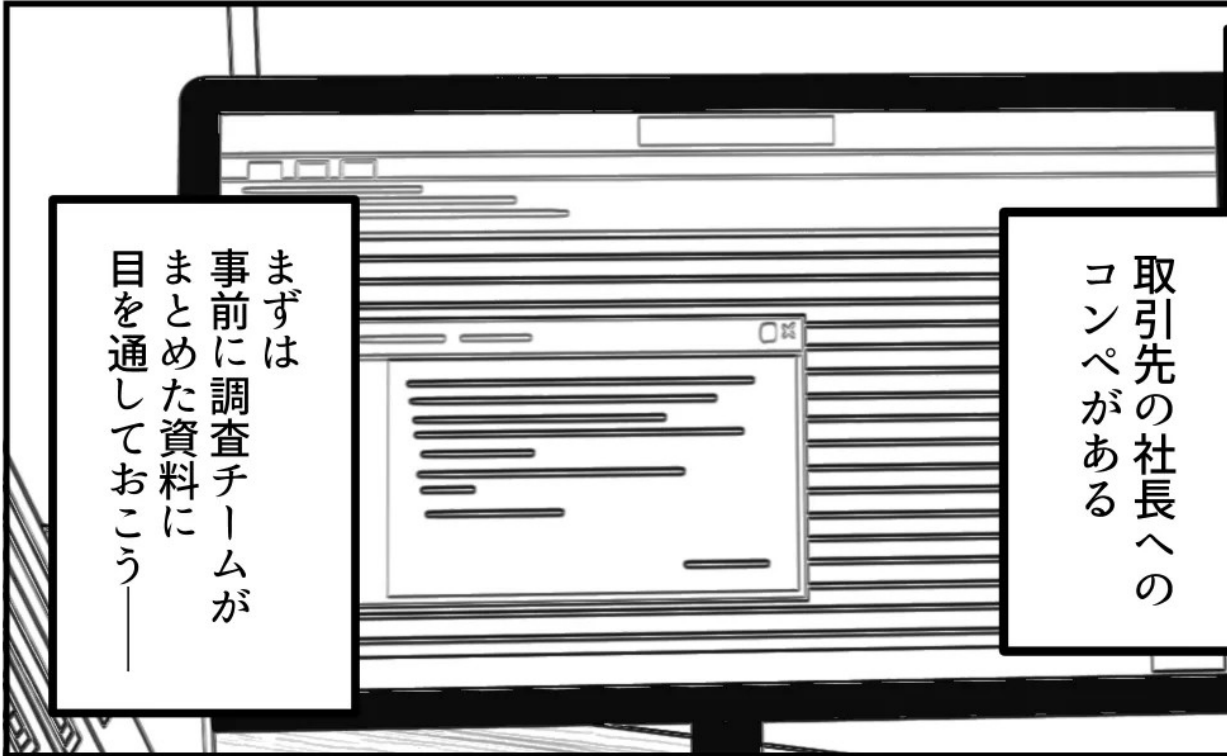
期待してるよ



新規の  
大型案件

取引先の社長への  
コンペがある

まずは  
事前に調査チームが  
まとめた資料に  
目を通しておこう――



良い資料ね  
よくまとまってる

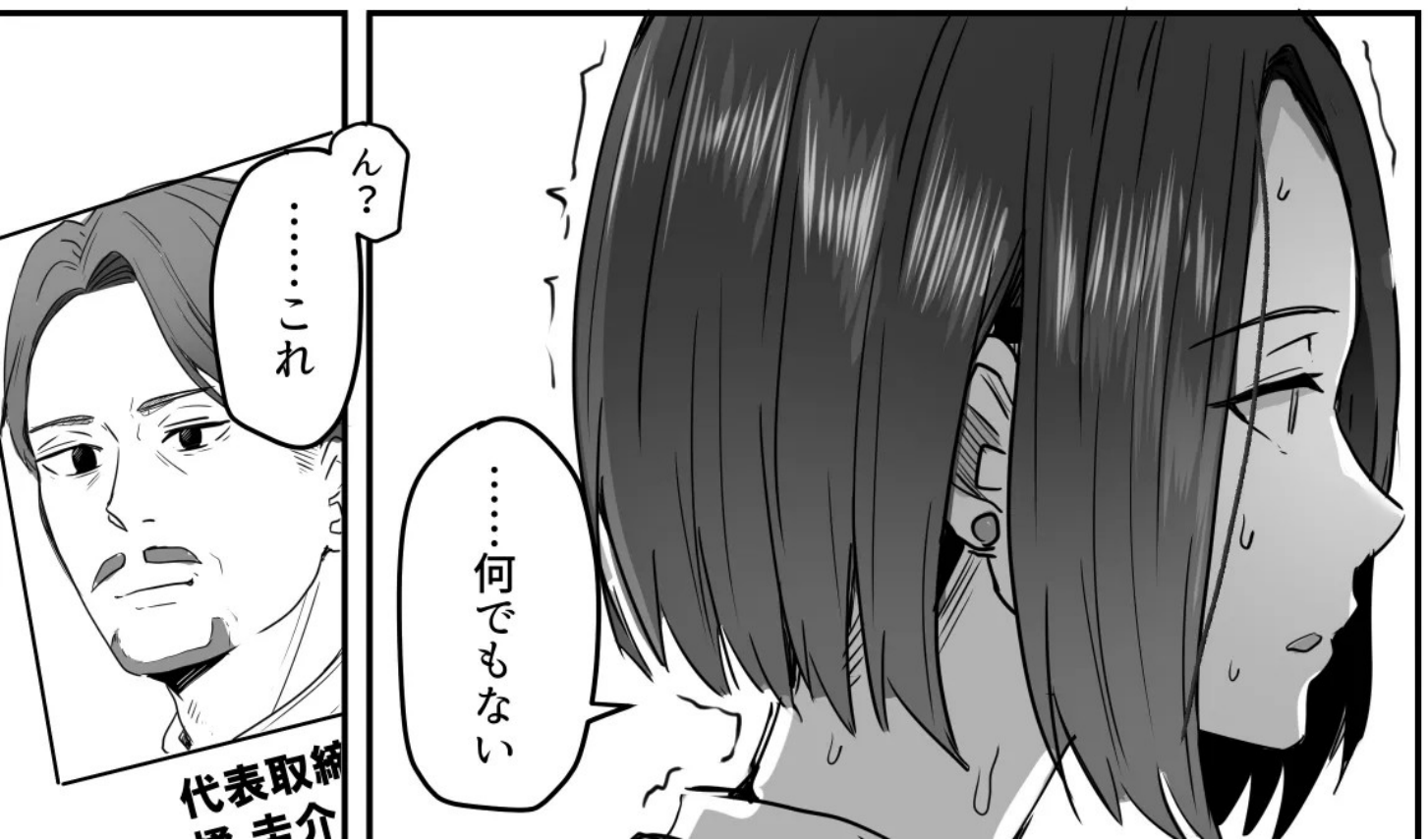
競合企業の  
提案に負けない  
ようにしないと――



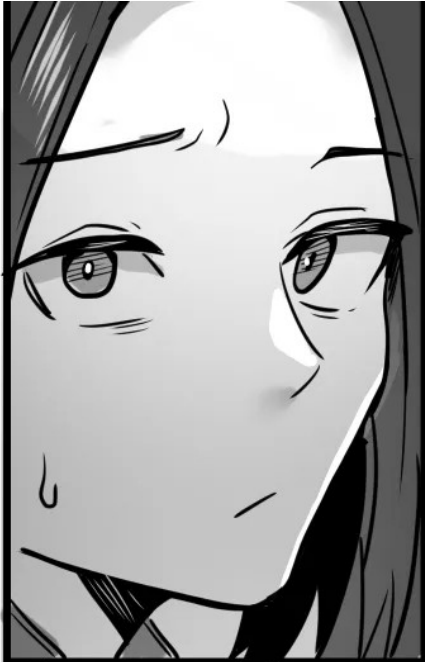
代表取締役社長  
橘 圭介

カチッ











これは私の  
仕事だから……！



真紀、無理して

私はこの仕事を  
成功させなきゃ  
いけないの

転職を繰り返してきた  
私にとって  
今の職場で  
成功すること  
チャンスで……



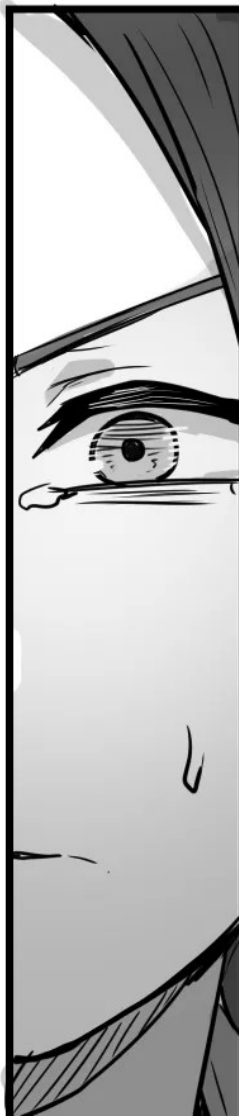
それに  
勇斗を育てる  
ためにも  
もっと収入を  
増やさないと……



だから……  
この機会は  
絶対にしたい



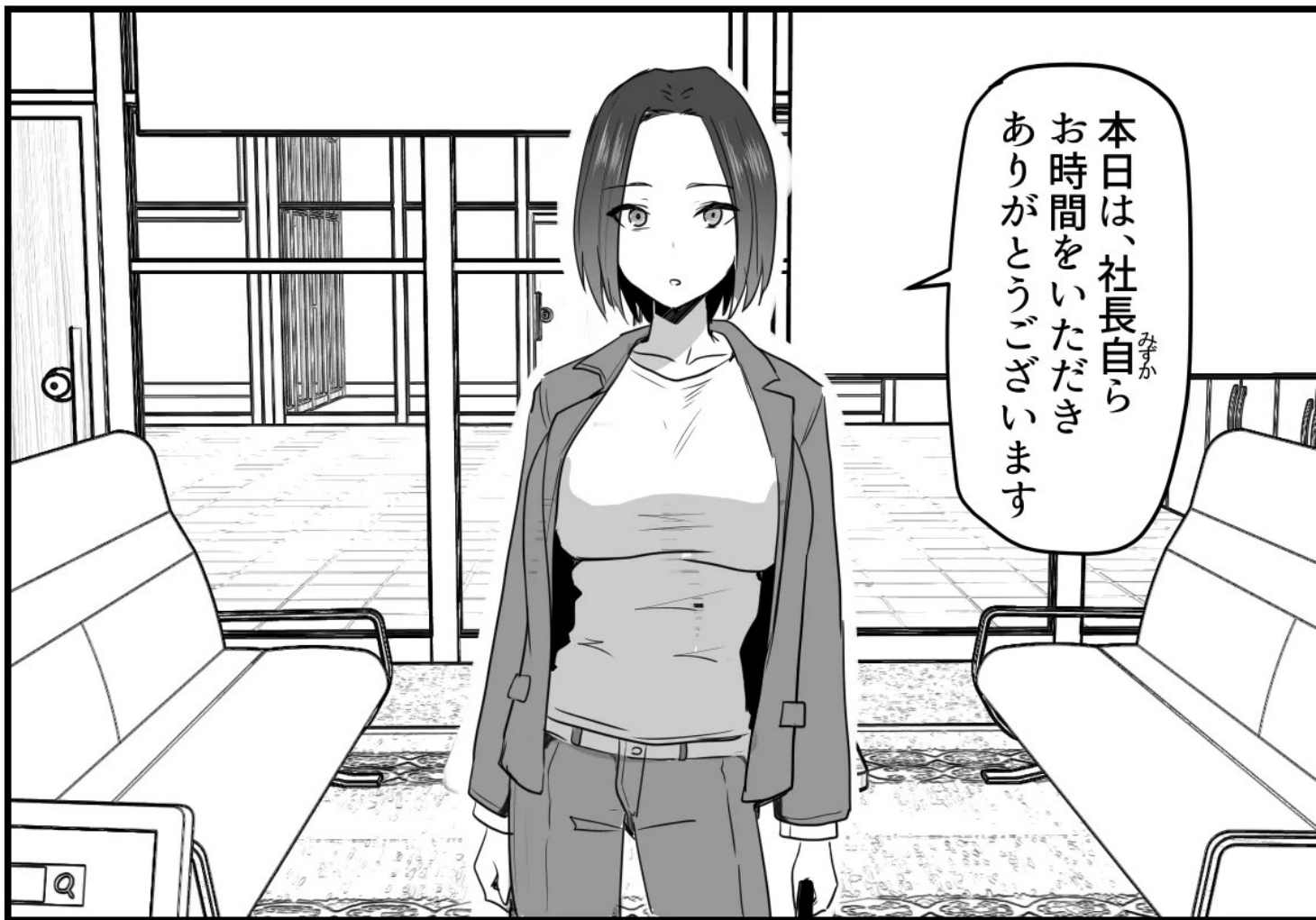
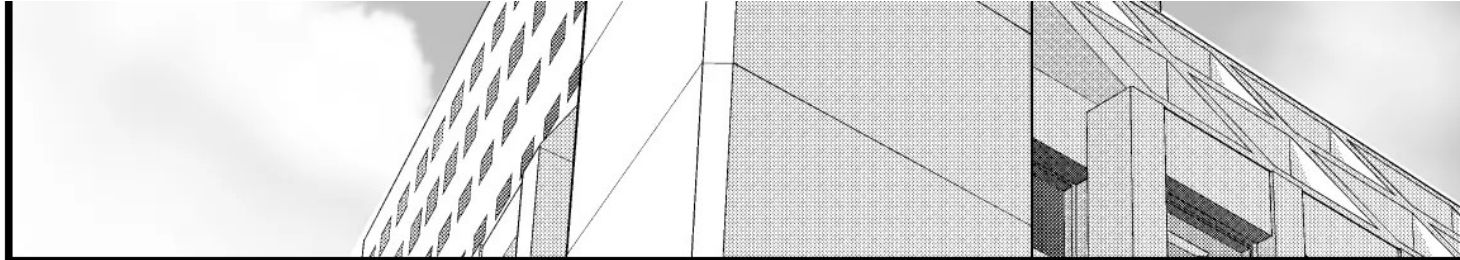
俺だって勇  
私にこの仕事が  
できないって  
言いたいのか？

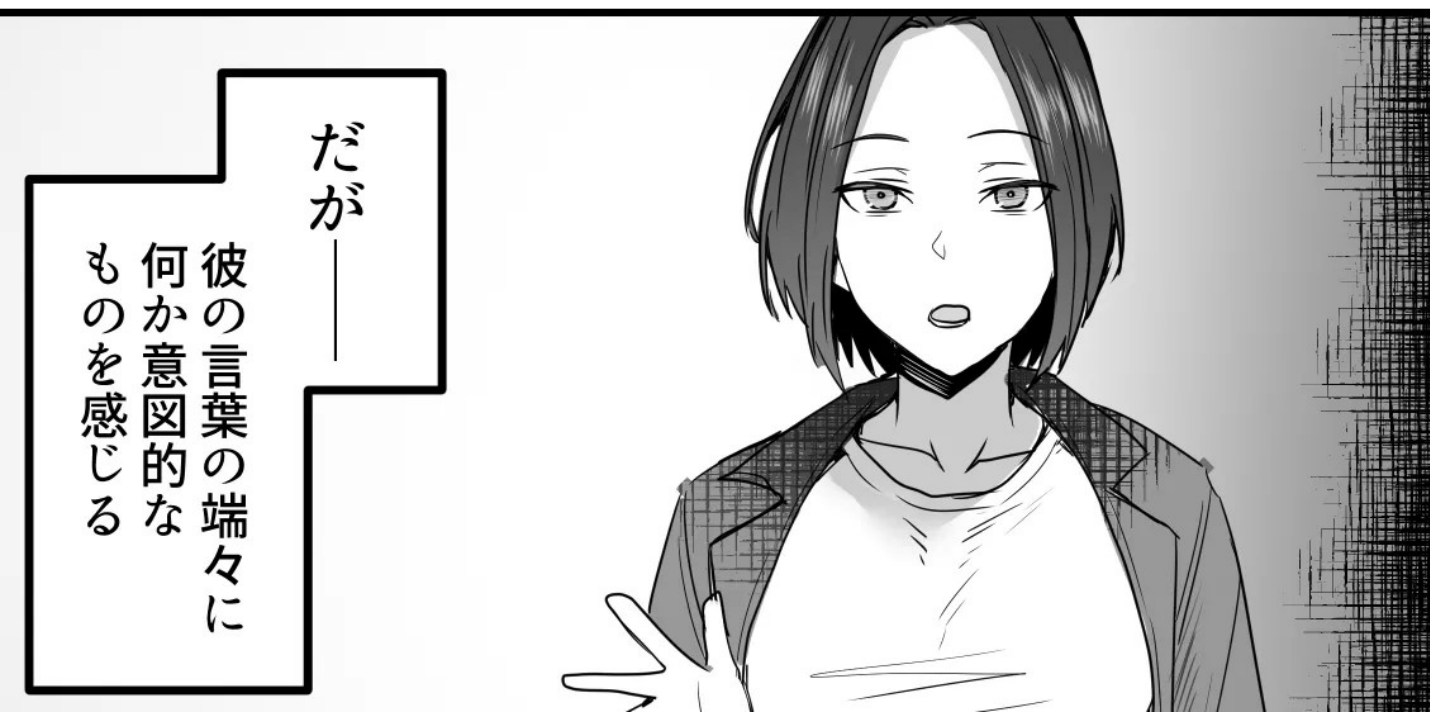


無理する  
なよ……











久しぶりに君と  
こうして話せる  
のは嬉しいよ

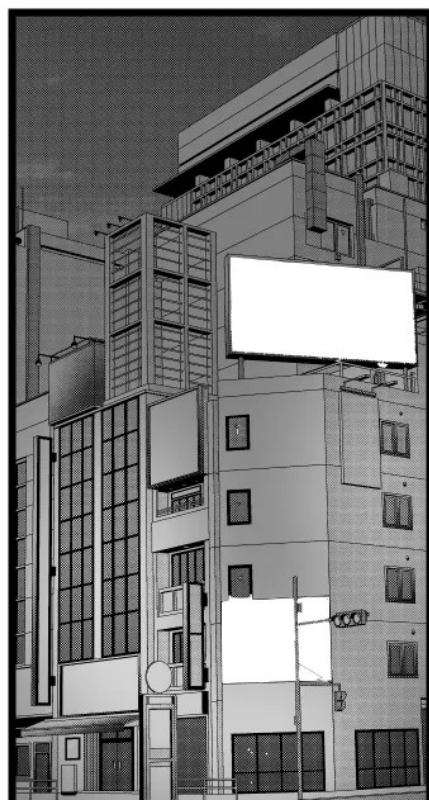
……  
口説く流れ  
の  
タイム  
パター  
ン

お心遣い  
ありがとうございます  
ございます  
契約内容は  
具体的な調整後に  
進めましょう

ああ  
今後の詳細は  
追って確認  
調整する

以降は担当者  
から連絡するので  
よろしく頼むよ

承知しました



コンペは終わった  
上手くいきそうだ

それなのに  
心が晴れない

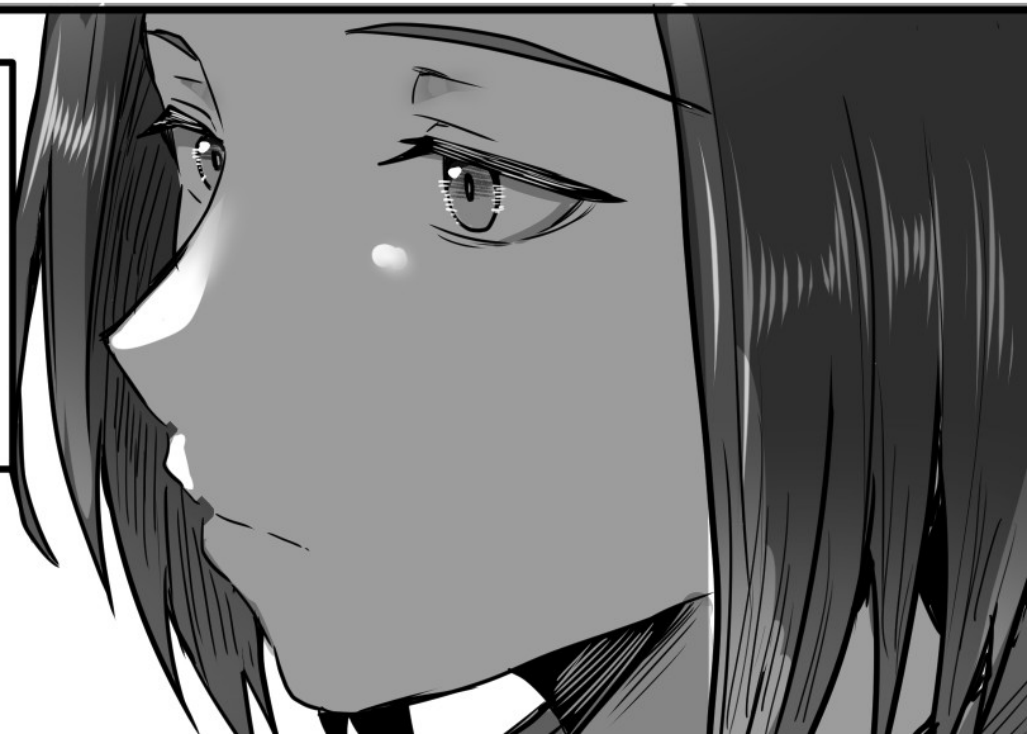


私にこの仕事が  
できないって  
言いたいのか？



正太郎は  
私を心配してくれた  
だけなのに

あんな言い方  
する必要なかった  
よね……







いつも私のことを  
気にかけてくれる

手伝うから  
どこまで  
やったか教えて

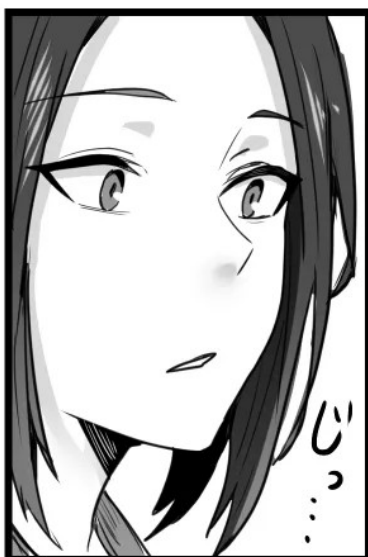
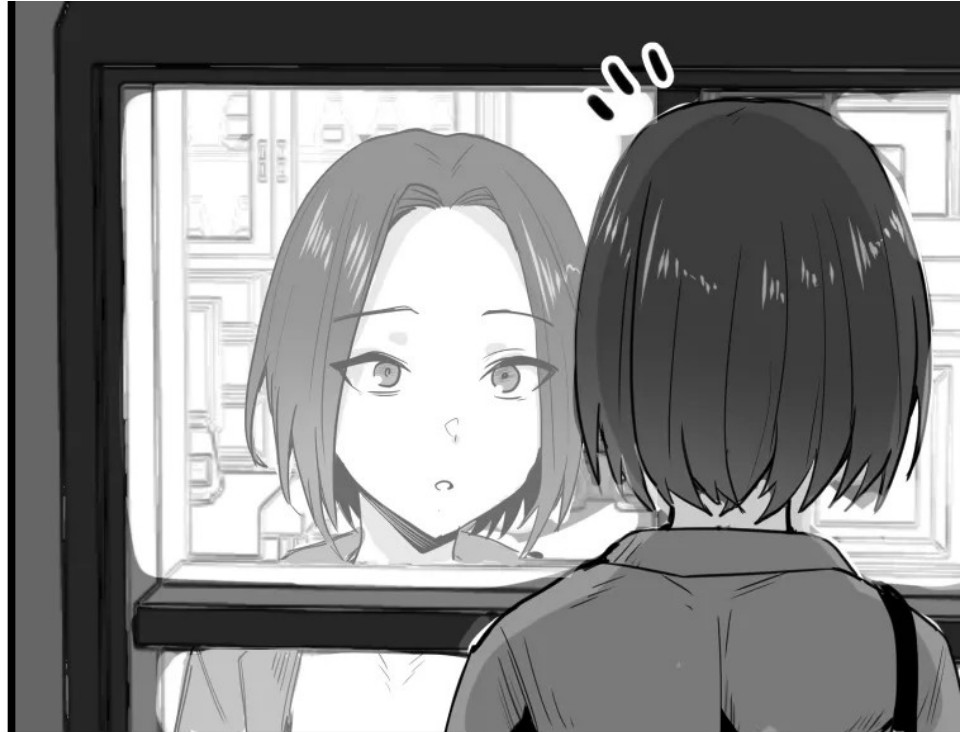
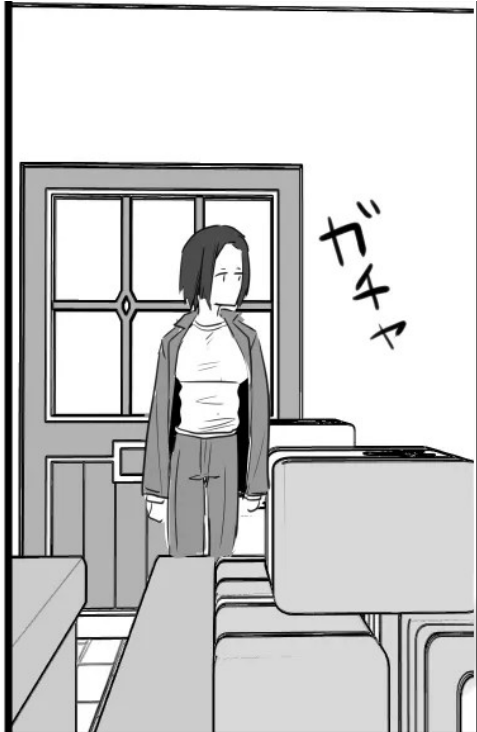
あ……うん

勇斗には  
ご飯食べさせて  
寝かせておいた

仕事でも  
私が無理をしすぎない  
ようにフオロー  
してくれて

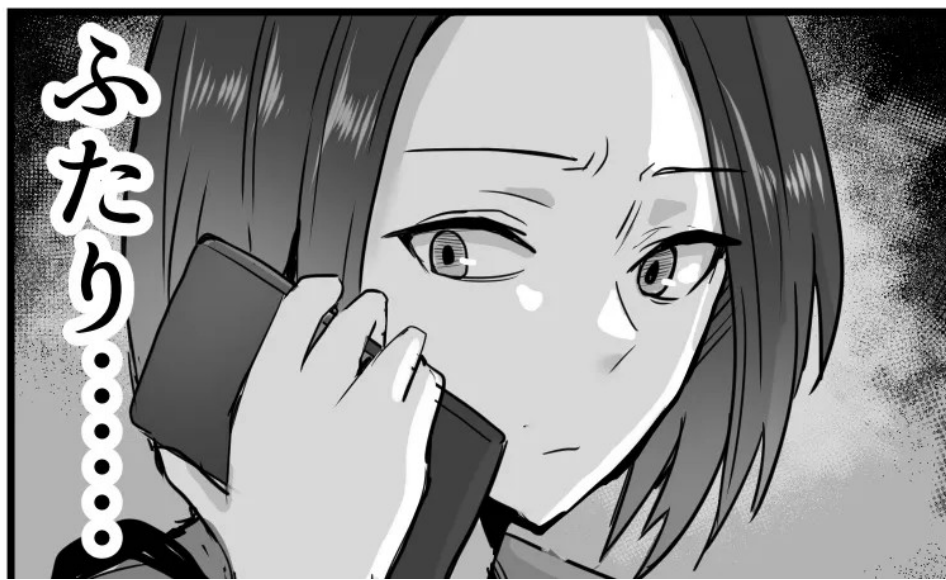


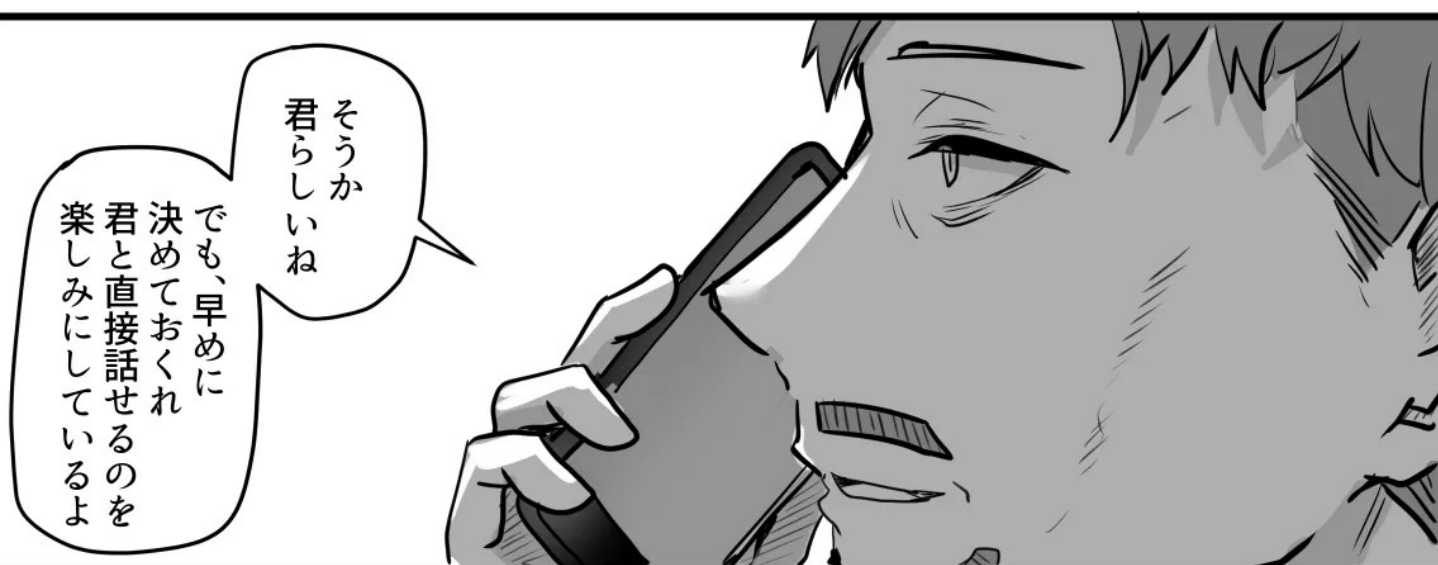
それなのに……  
私は――

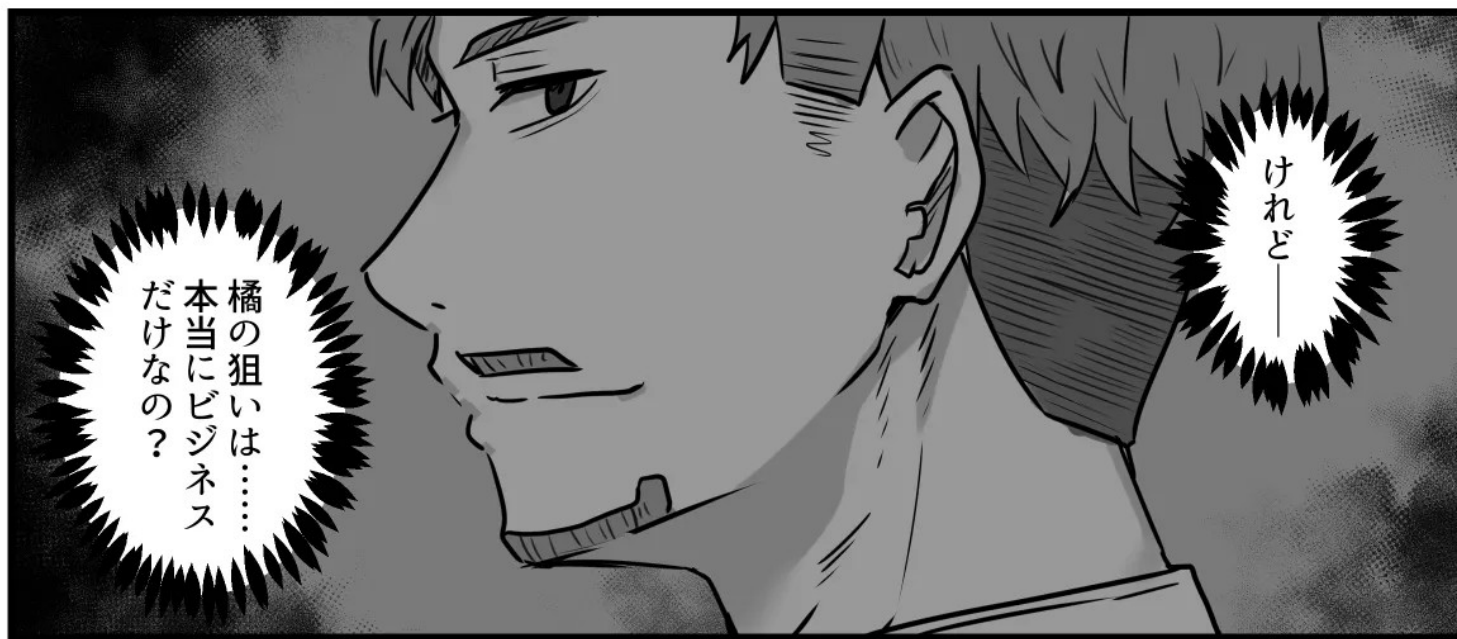
















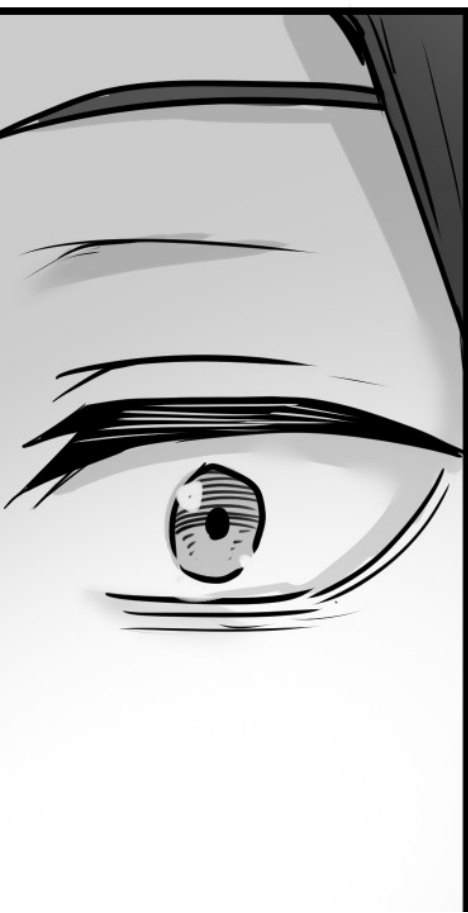
会社からの  
帰り道：  
これから  
電車乗る

今どこだ？



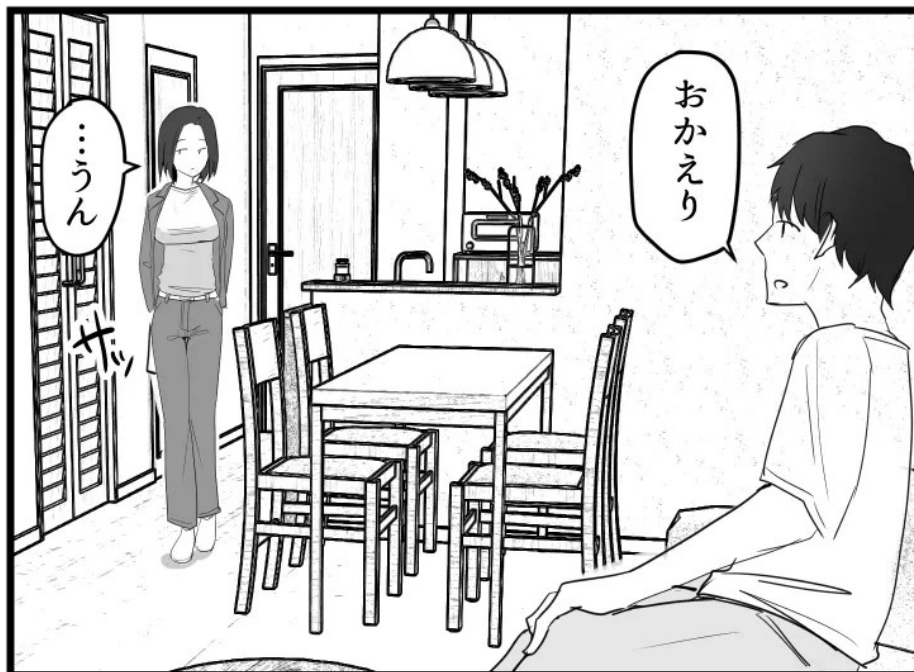
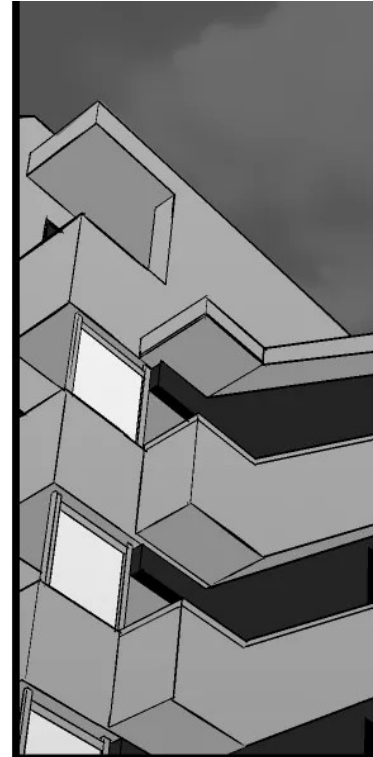
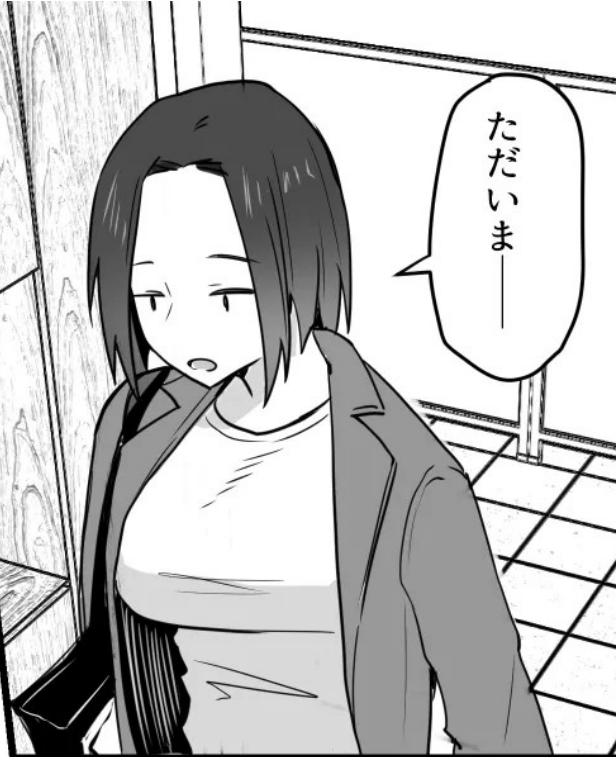
ちよつと  
寄り道してた

遅かったな



そうか  
……帰ったら  
話がある





.....さつき  
橘からお前に  
個別の会食の誘いが  
あったらしいな

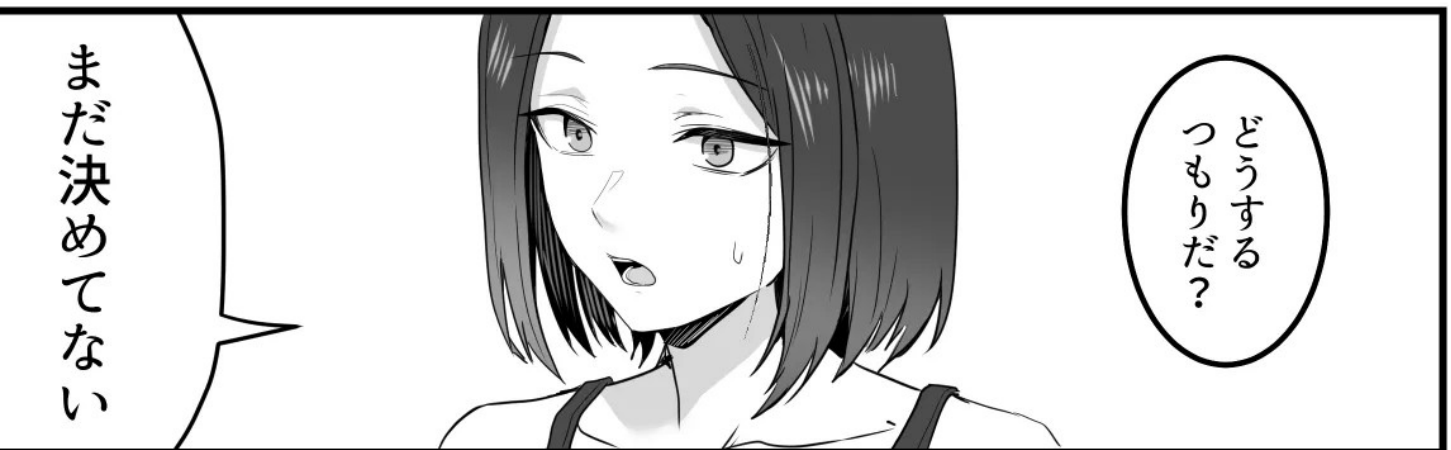


上司が情報を  
共有していた  
のだろう



部長だ

……誰から  
聞いたの?



どうする  
つもりだ?

まだ決めてない



なら、断れ





正太郎が  
言いたいことは  
理解できる

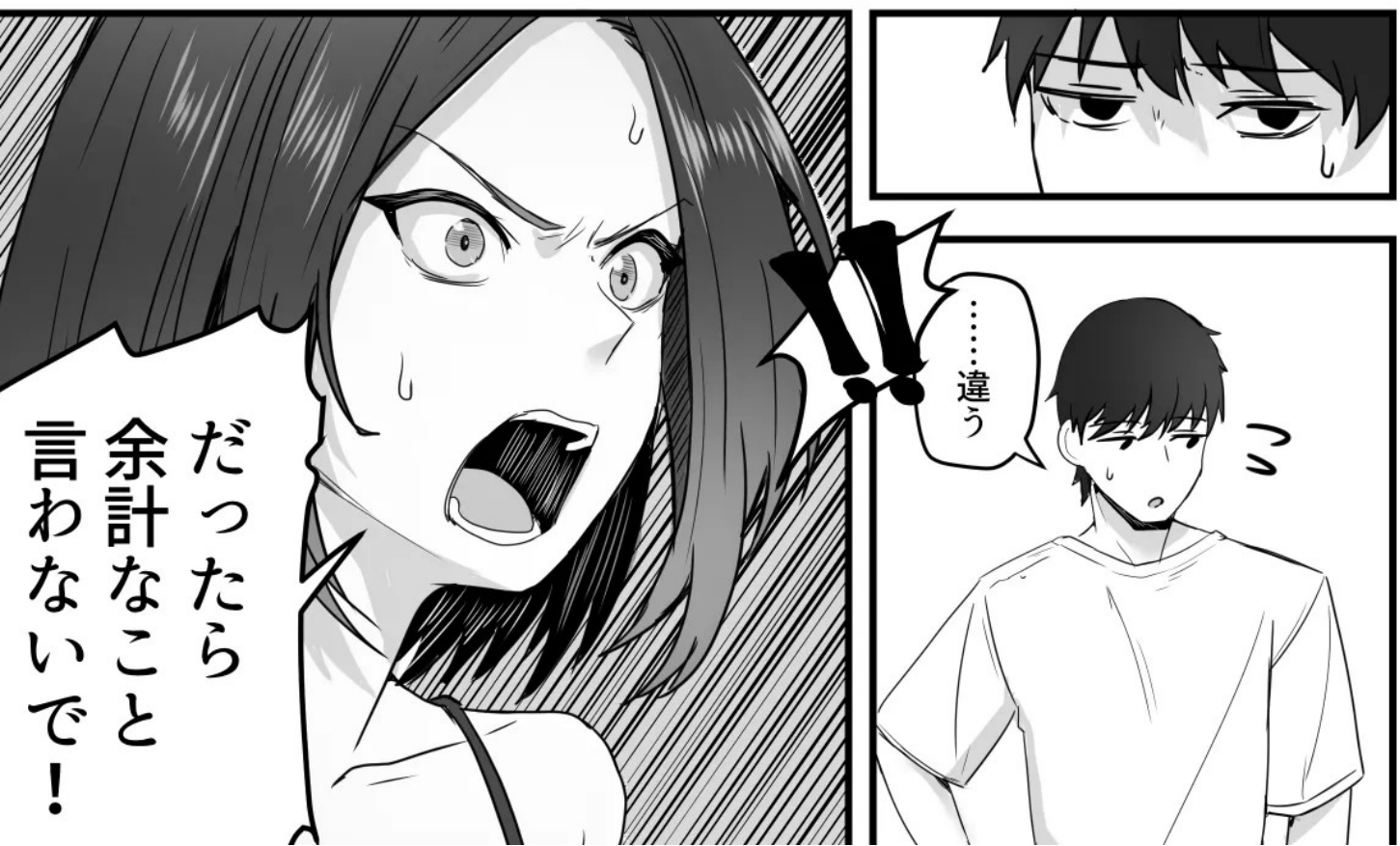
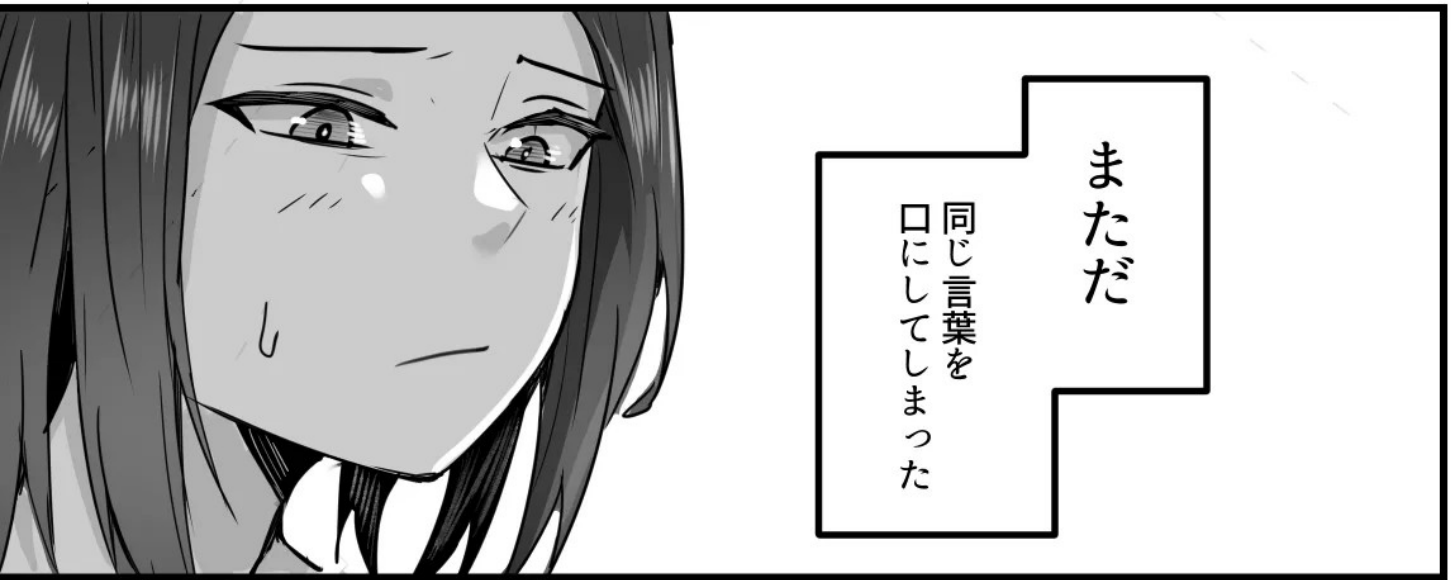
でも、私にとって  
これはただの個人的な  
感情だけの問題ではない

わかってる

でも――

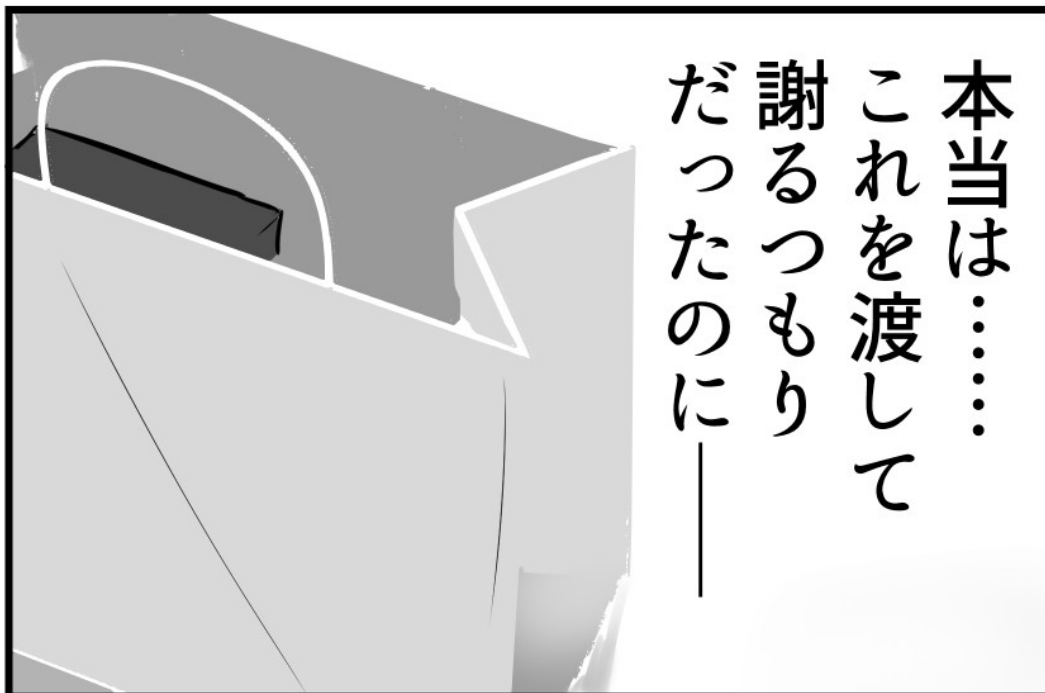
勇太のためにも  
成功させなければ  
ならない



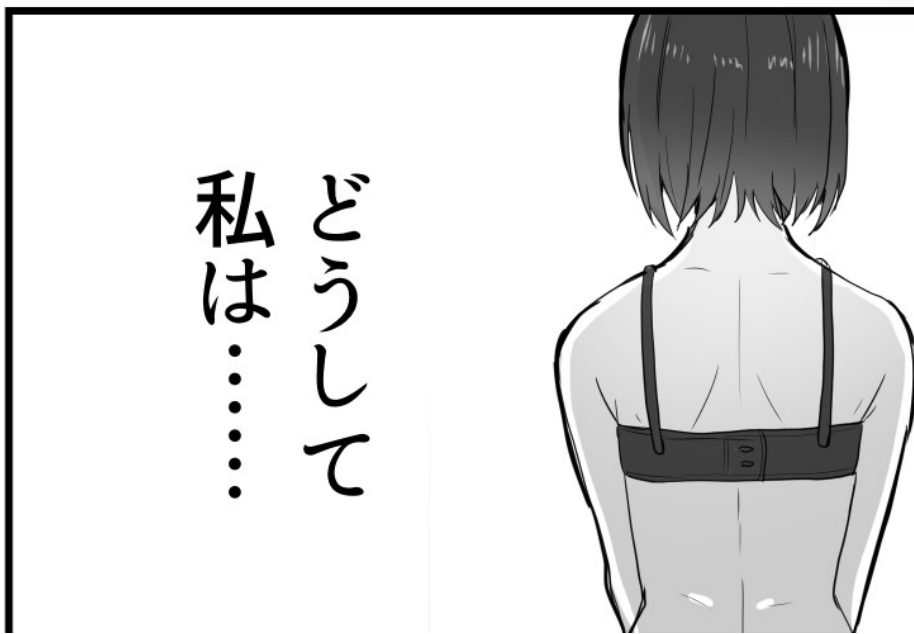




……わかった

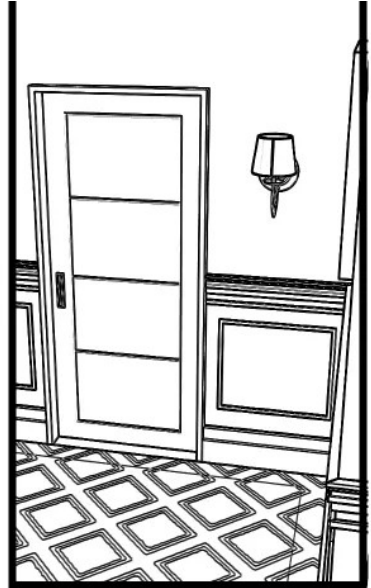
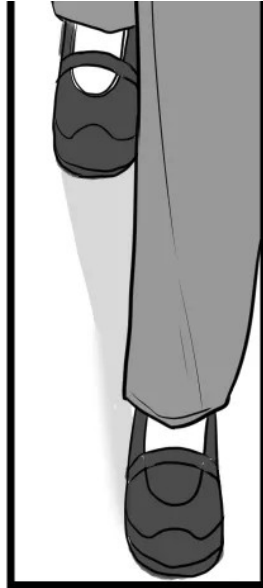
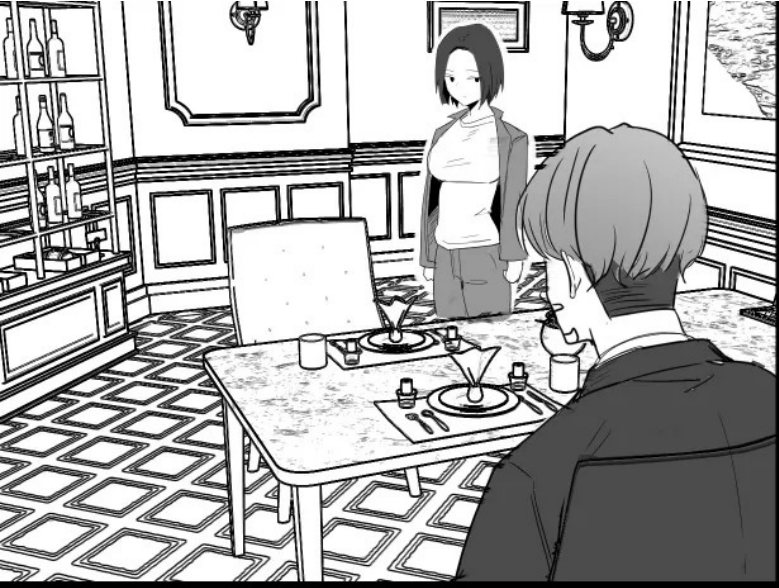


本当は……  
これを渡して  
謝るつもり  
だったのに――



どうして  
私は……

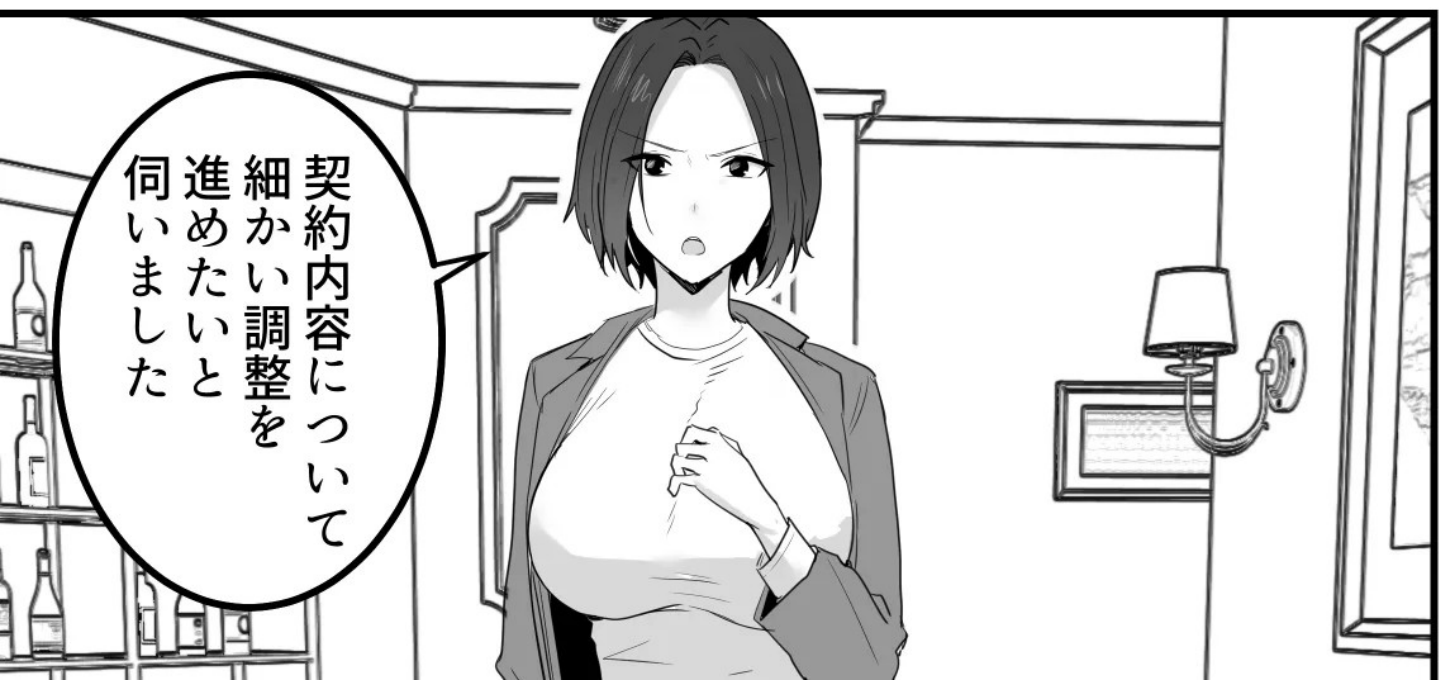




仕  
事  
の  
話  
を  
し  
に  
来  
た  
た  
だ  
、  
そ  
れ  
だ  
け



よ  
く  
来  
て  
く  
れ  
た  
ね  
座  
っ  
て



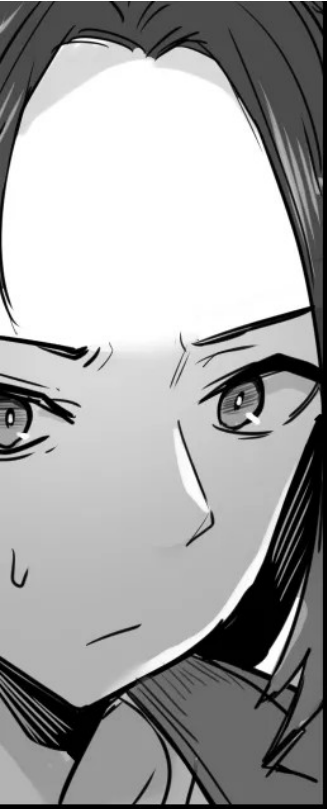
契  
約  
内  
容  
に  
つ  
い  
て  
細  
か  
い  
調  
整  
を  
進  
め  
た  
い  
と  
伺  
い  
ま  
し  
た

まあまあ、そんなに  
急がなくても  
いいじゃないか

せっかくの機会だ  
少し昔話でもしながら  
食事をしよう

ここはビジネス  
の場です

無駄話を  
するつもりは  
ありません



君は  
相変わらずだな



相変わらず、  
か……

いや、違うな



昔より素敵に  
なったよ

……またこれ



この男は  
昔からこうだ

仕事の話に私情を絡め  
こちらの反応を  
試すように  
言葉を選ぶ

「褒め言葉」のように  
装いながら  
ほんの少しだけ相手を  
試すような  
そんな言葉を

……本題に  
入りましょう



この取引は  
君にとっても  
会社にとっても  
大きな意味を  
持つだろう？

君が担当することで  
取引の成立は  
ぐっと近づく

でもね……  
もうひと押し  
決め手が  
ほしいんだ



契約を確実に  
するために  
もっと君と親しい  
関係を築きたい



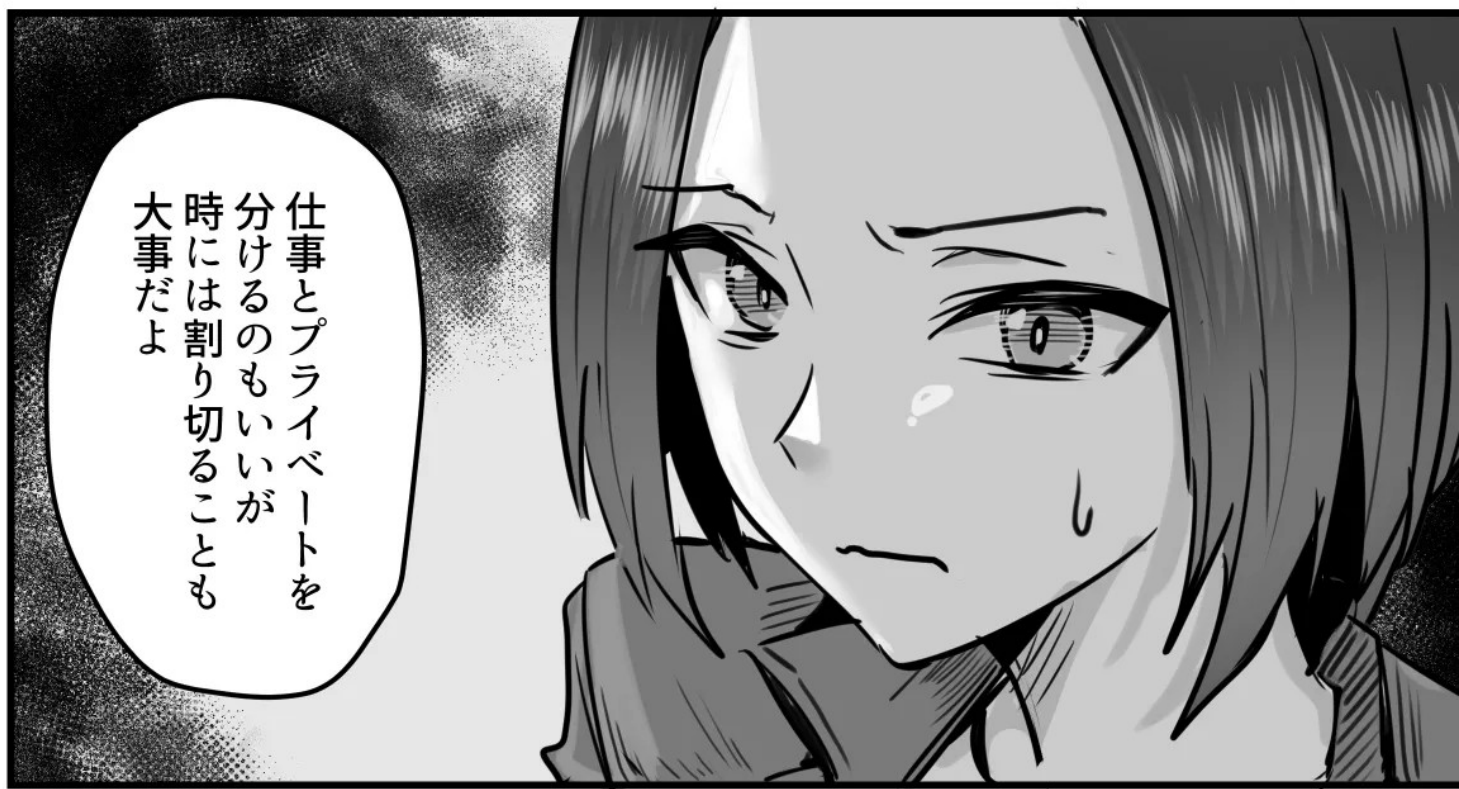
決め手？

言葉通りの  
意味さ

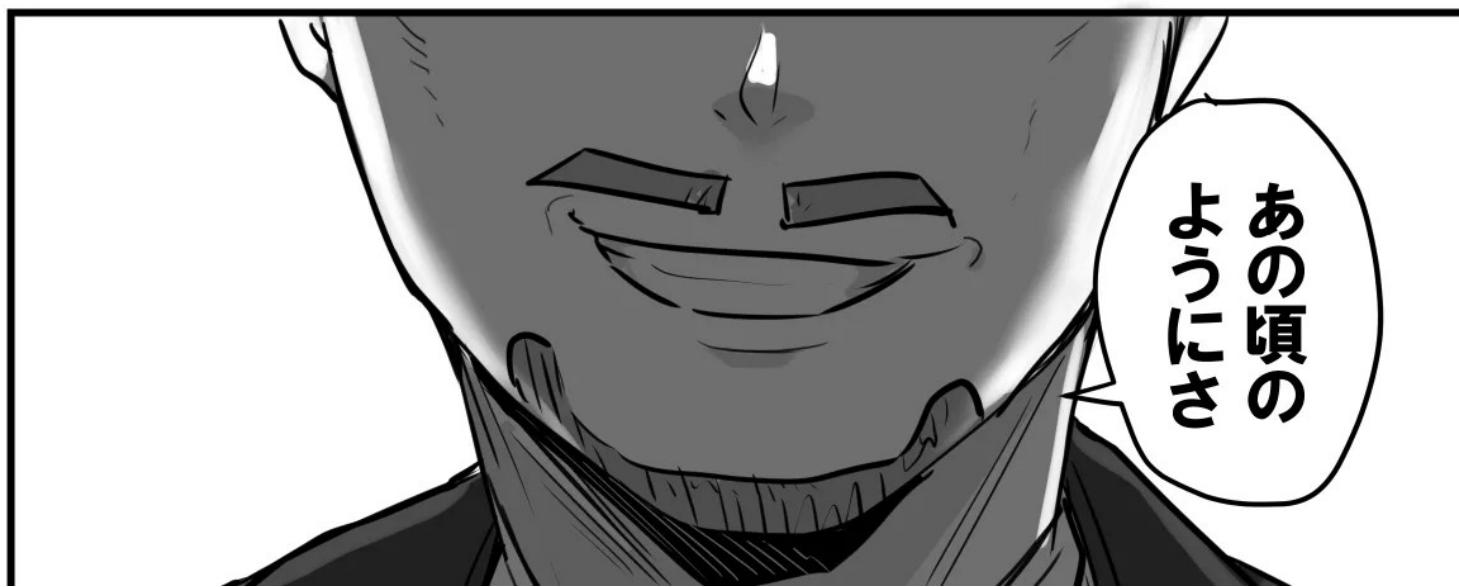


……どういう  
ことですか？

大人なんだから  
わかるだろう？



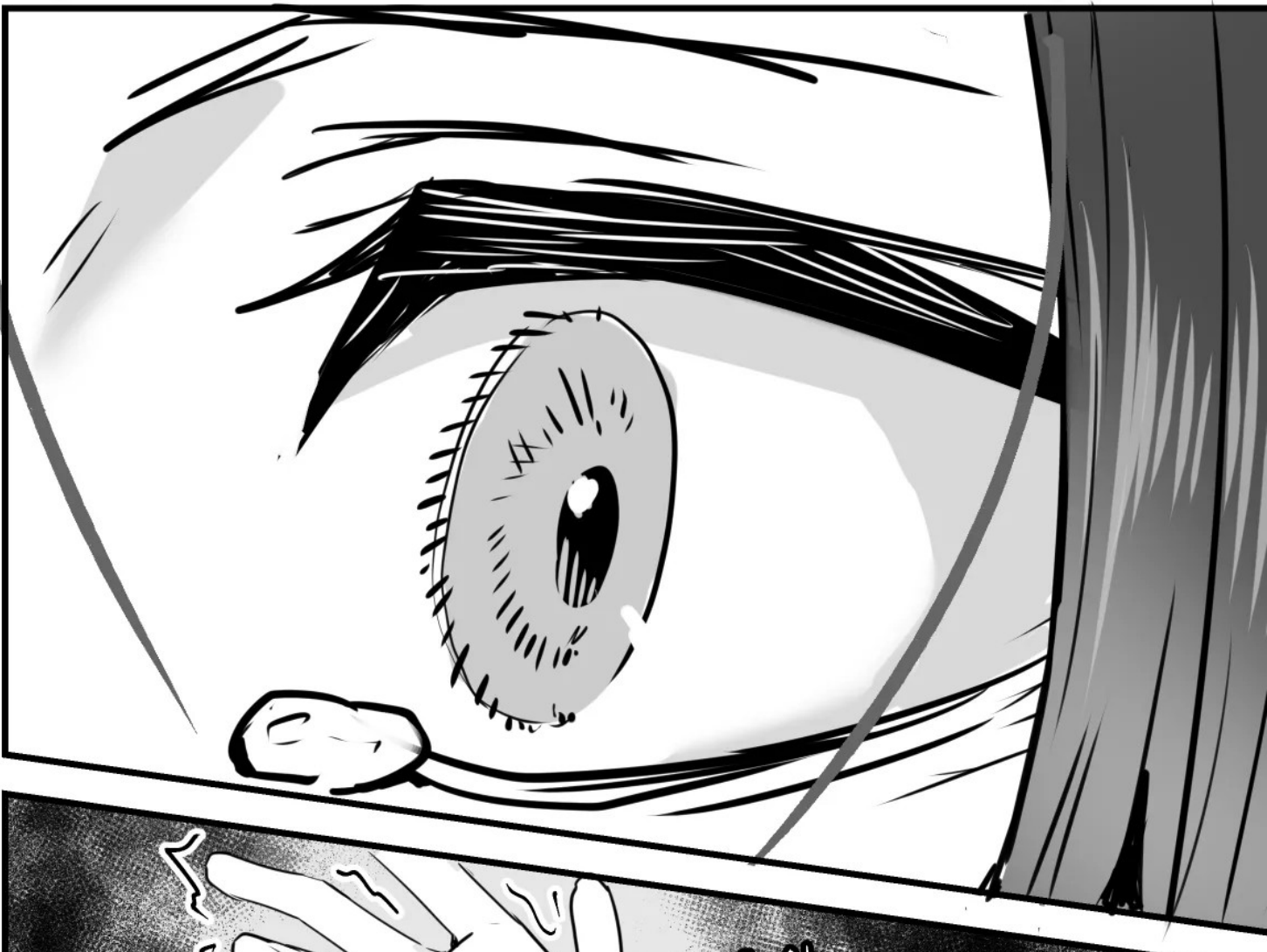
仕事とプライベートを  
分けるのもいいが  
時には割り切ることも  
大事だよ



あの頃の  
ようにさ

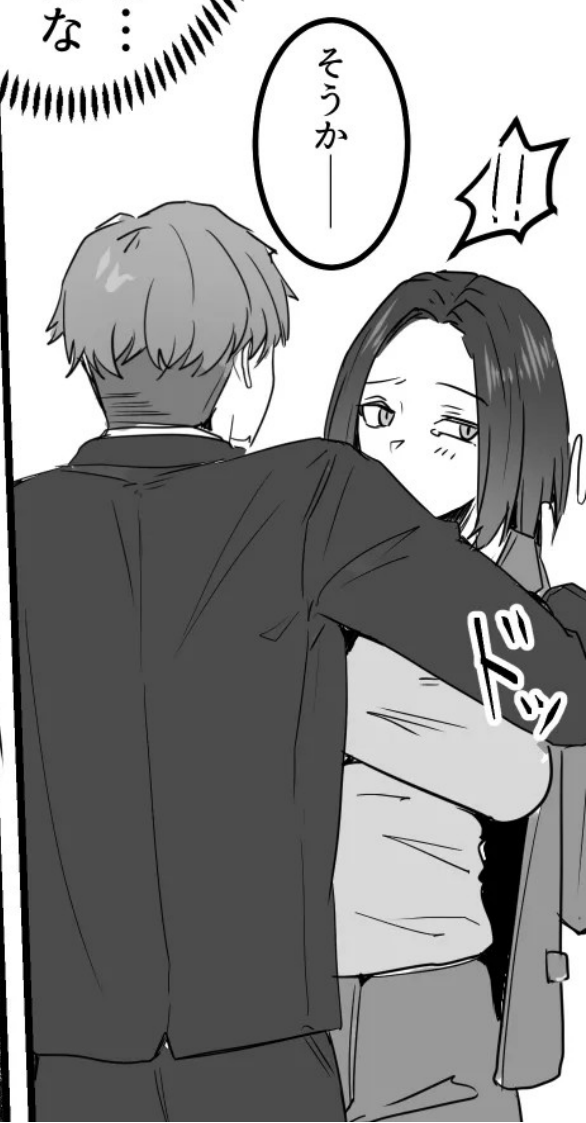
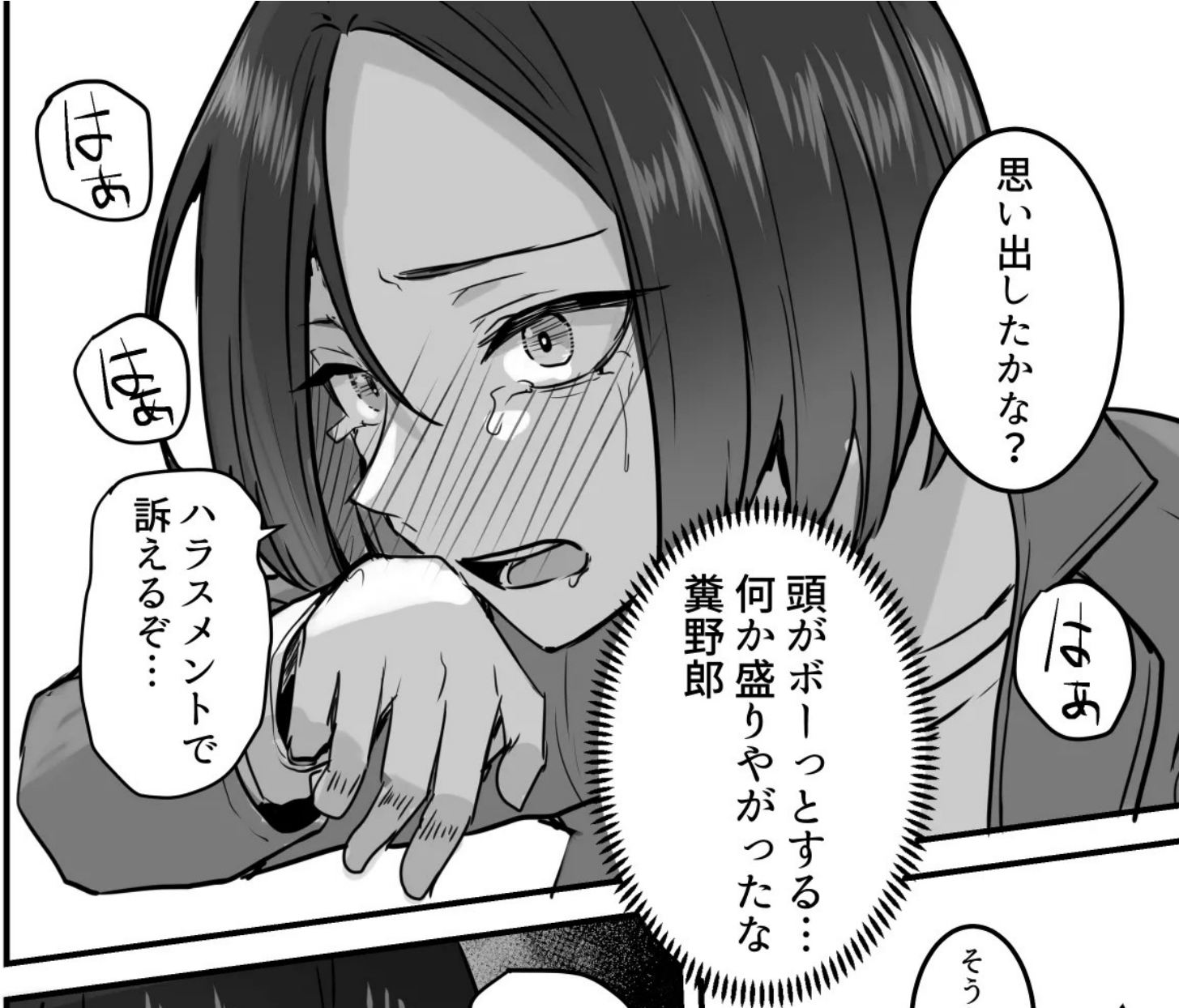












ググッ

お利口だね

はあ

はあ

君は

駄目：  
力が入らない：

グイッ

ツルン

や...  
め...

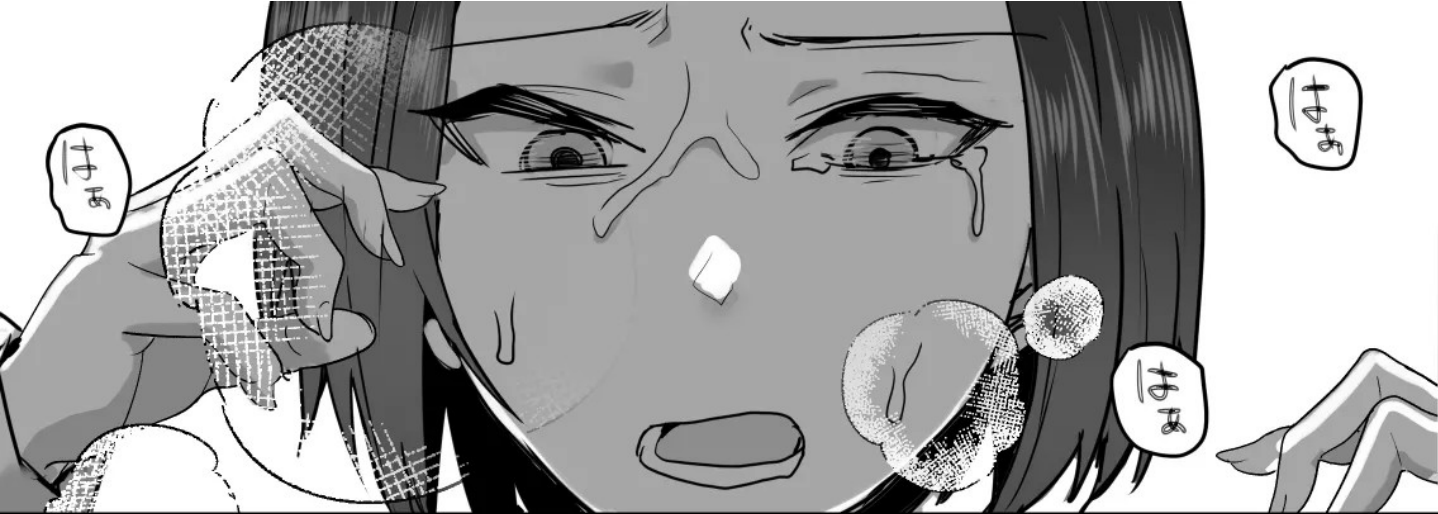
思い出す  
だろう？

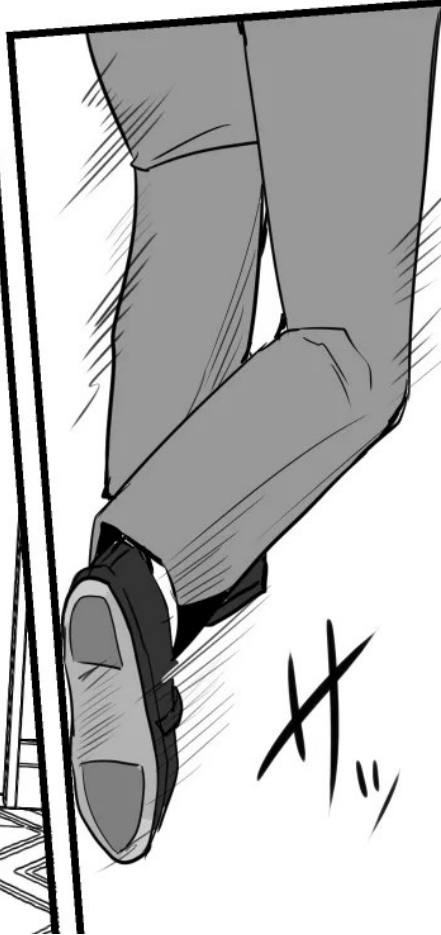
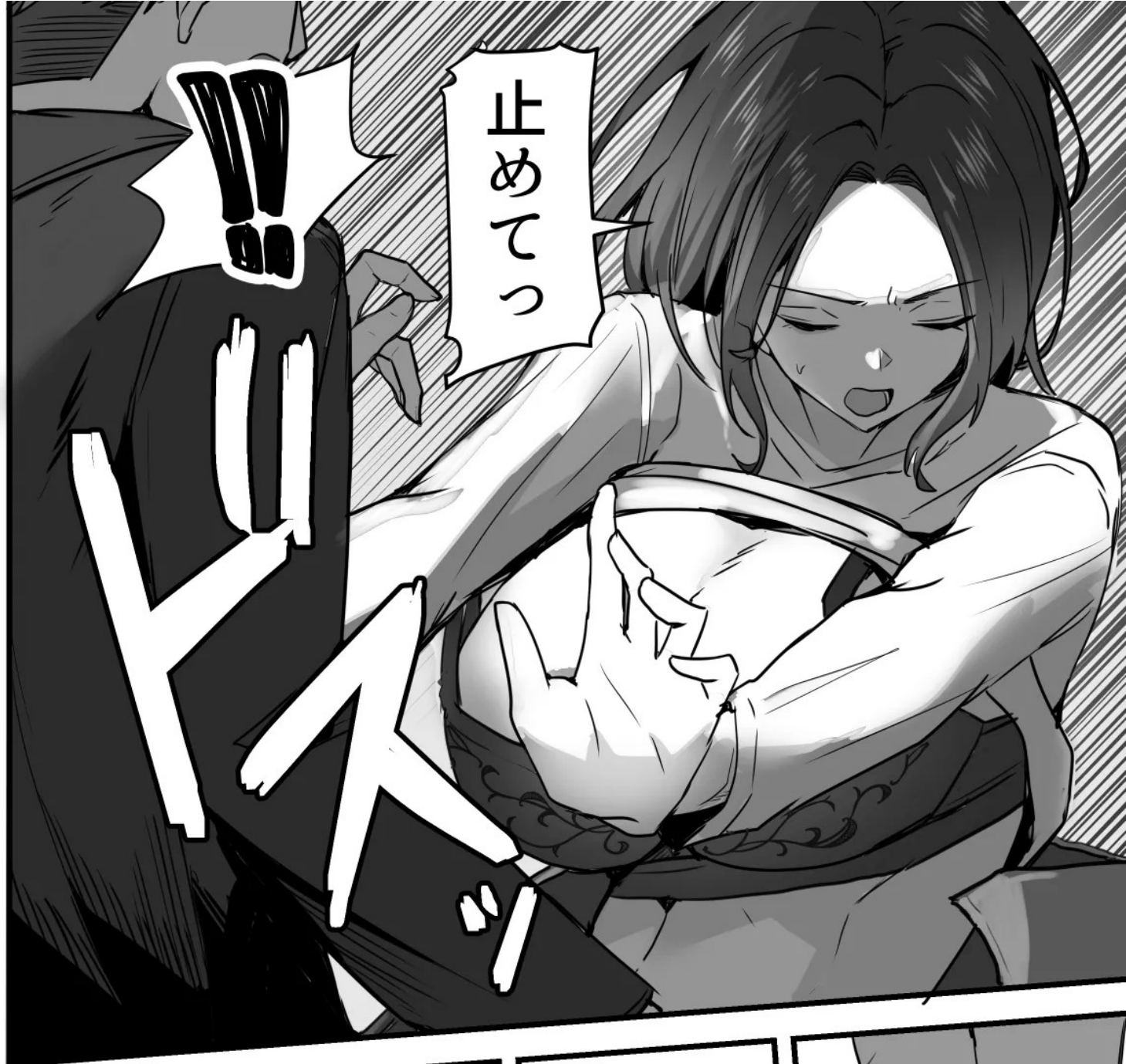
私が君の乳首を開発  
してあげたんだから

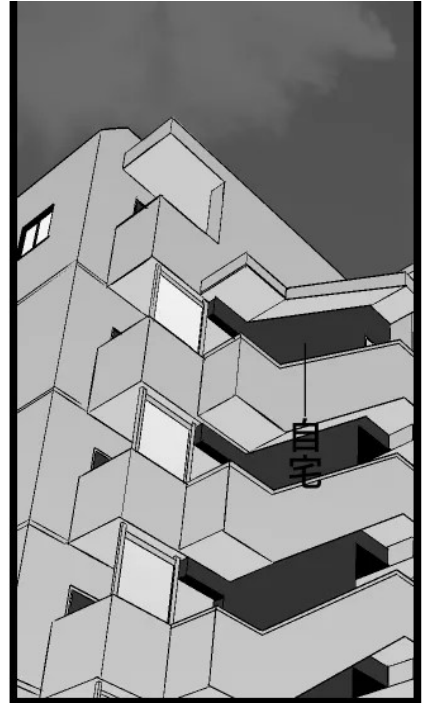
糞野郎…

止めろ…ッ

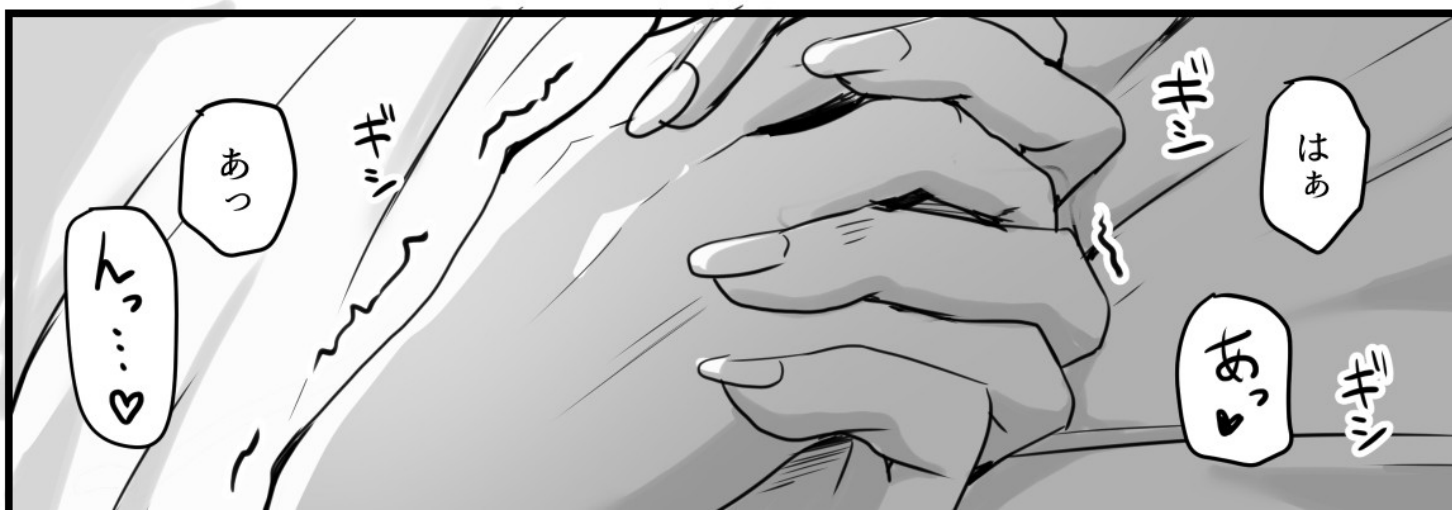








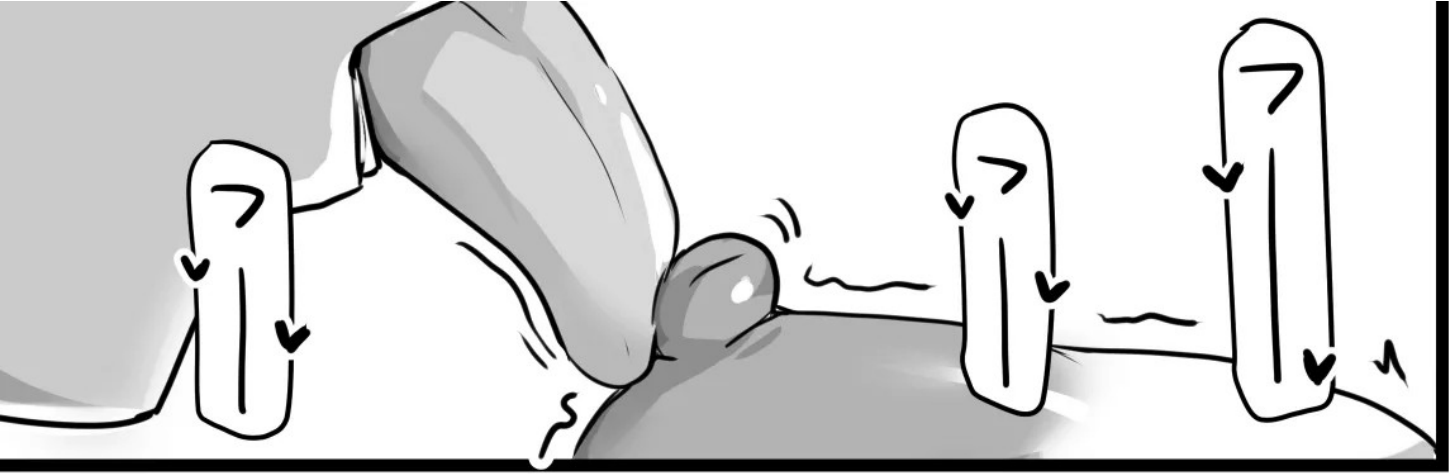


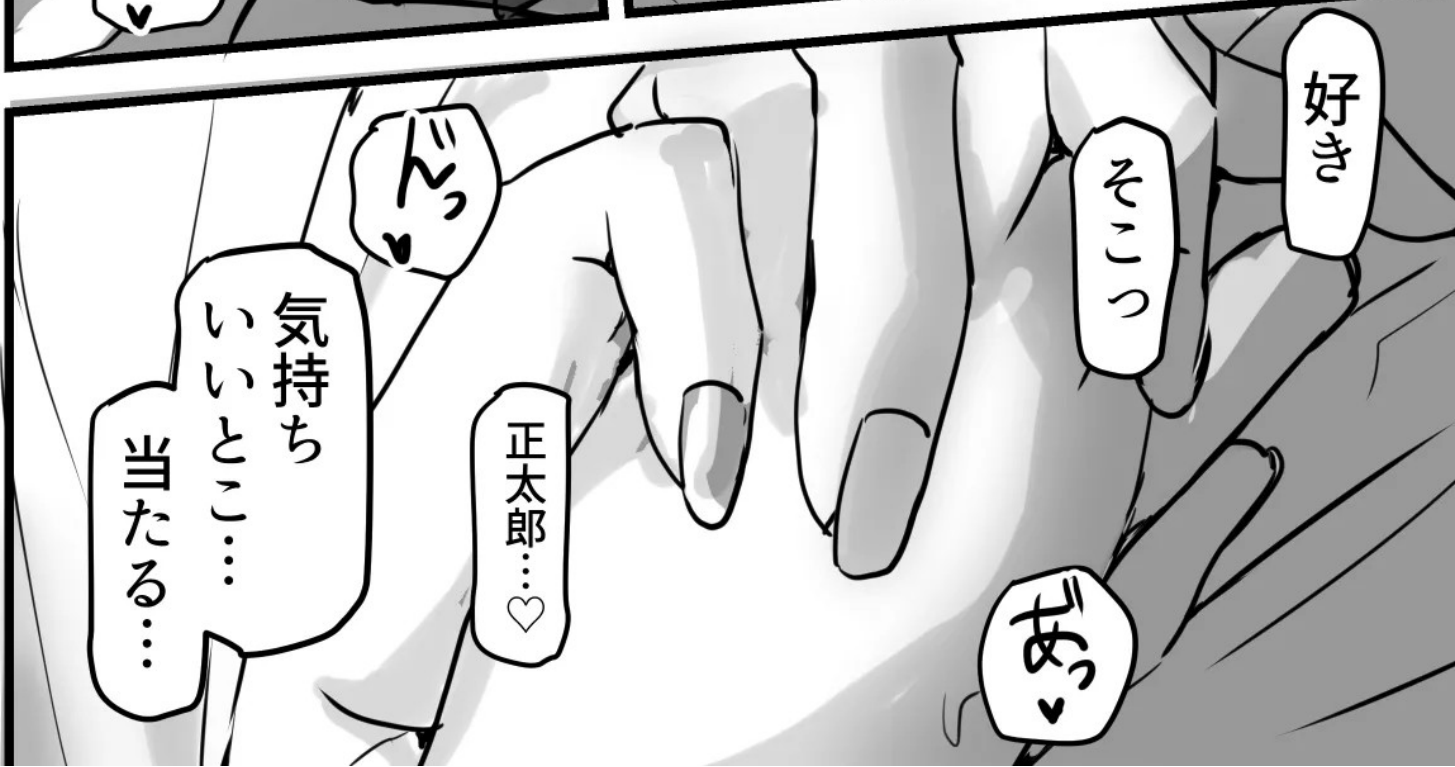


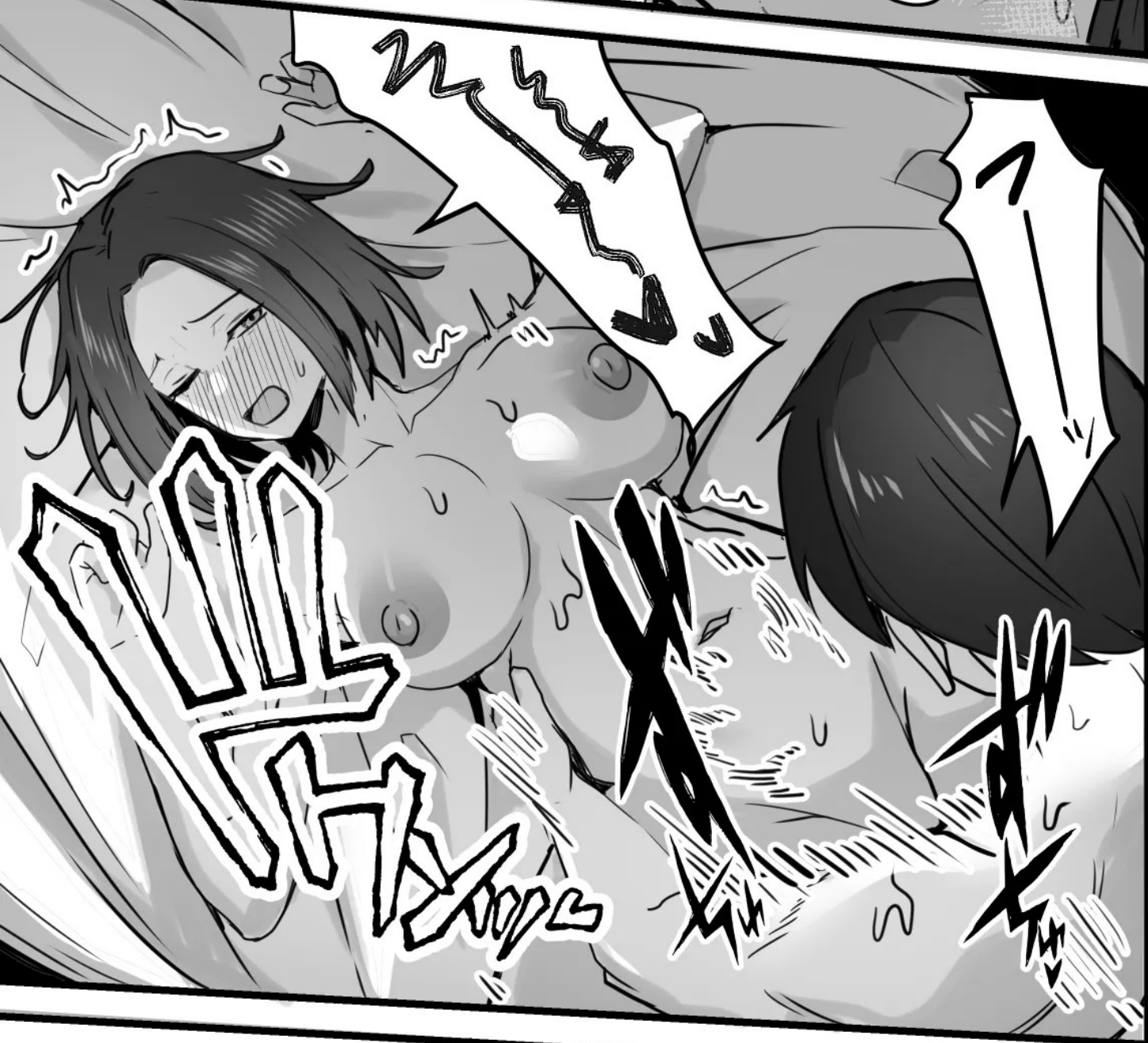
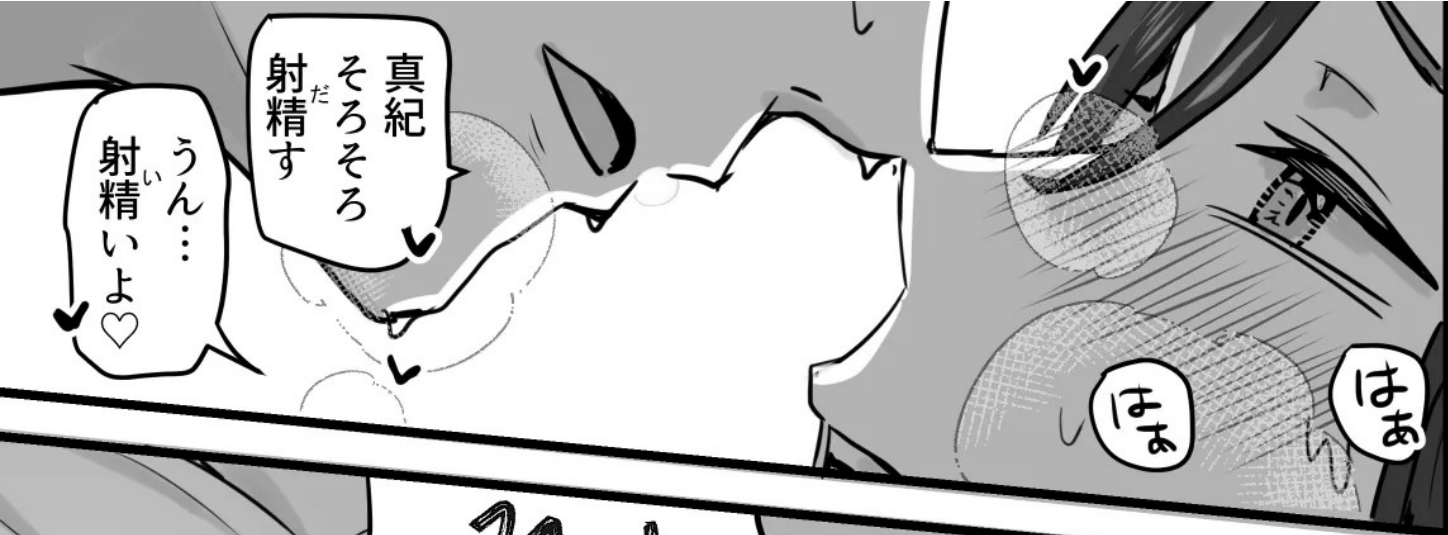
















真紀……  
おさまん  
まだ勃起ねえ

ほあ♡

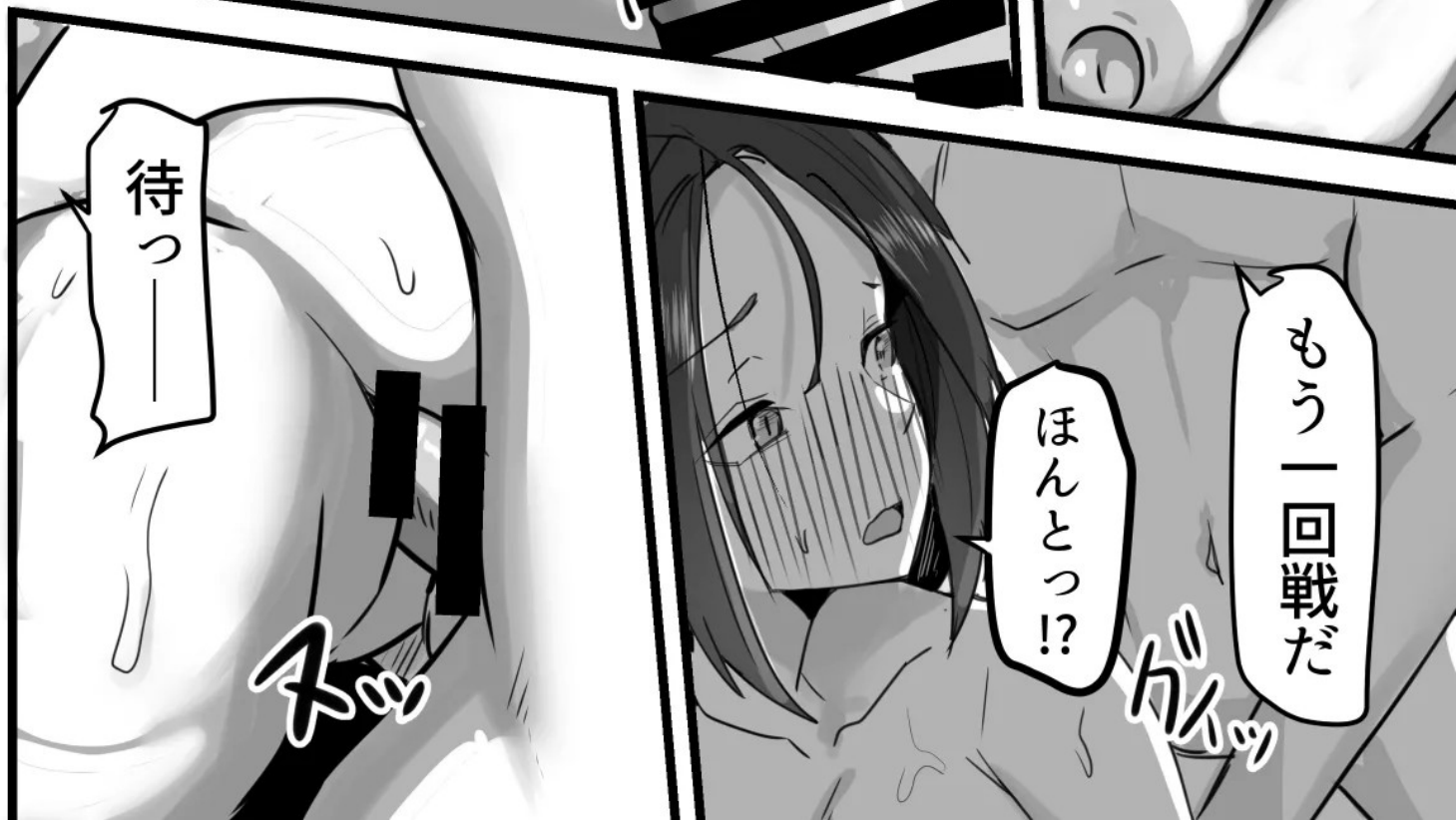
正太郎……

ほ♡

ほあ♡

ほあ♡

ぬっ



待つ

ほんとっ!?

もう一回戦だ

アッ

かんッ











正太郎……

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

ん♡♡♡

ん♡♡♡

はぁ♡

はぁ♡♡♡

ん♡♡♡

いいよ  
射精して♡

はぁ♡

ん♡♡♡

真紀っ  
俺も射精すぞ

ガッ

ん♡♡♡

ん♡♡♡

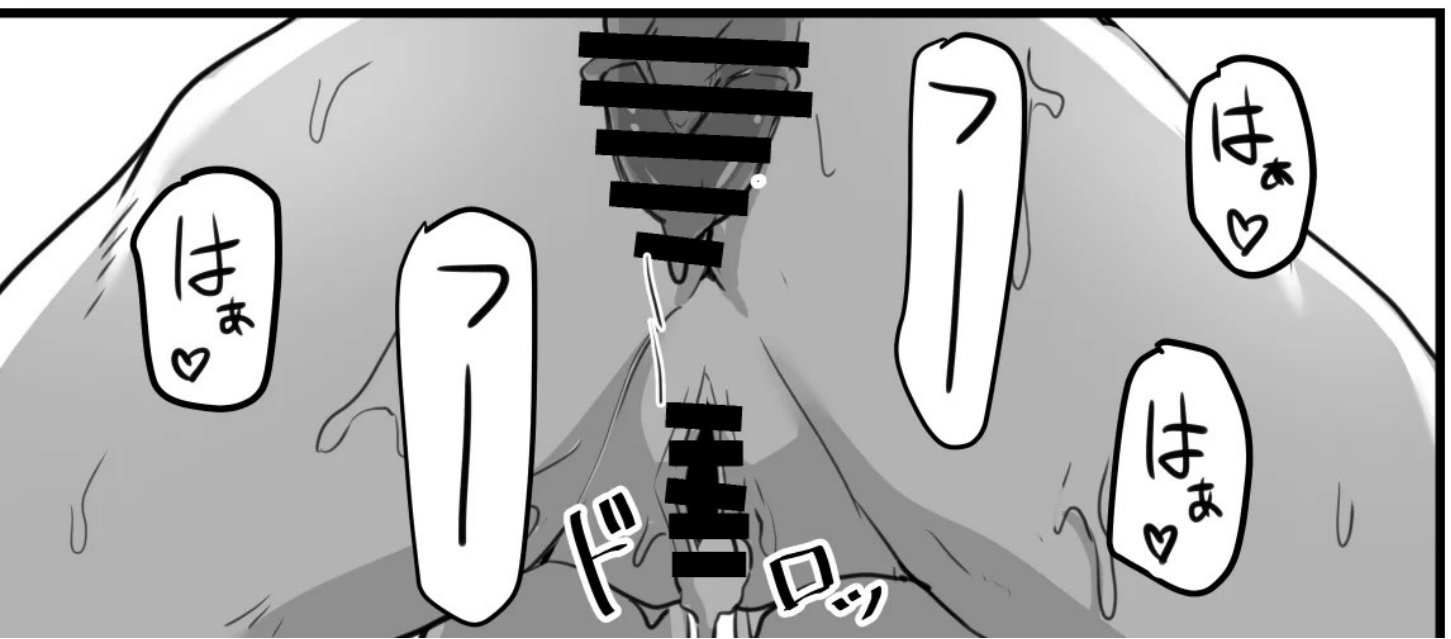
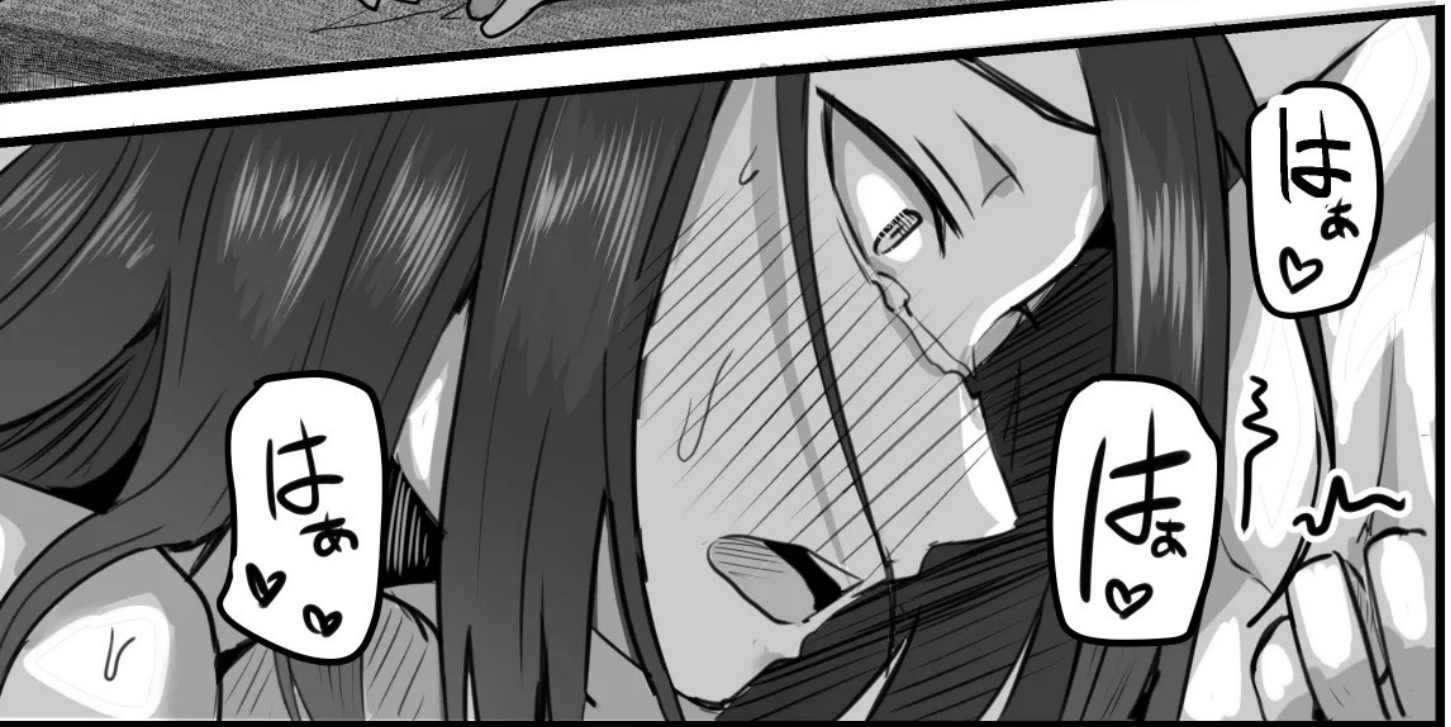
はぁ♡

ん♡♡♡

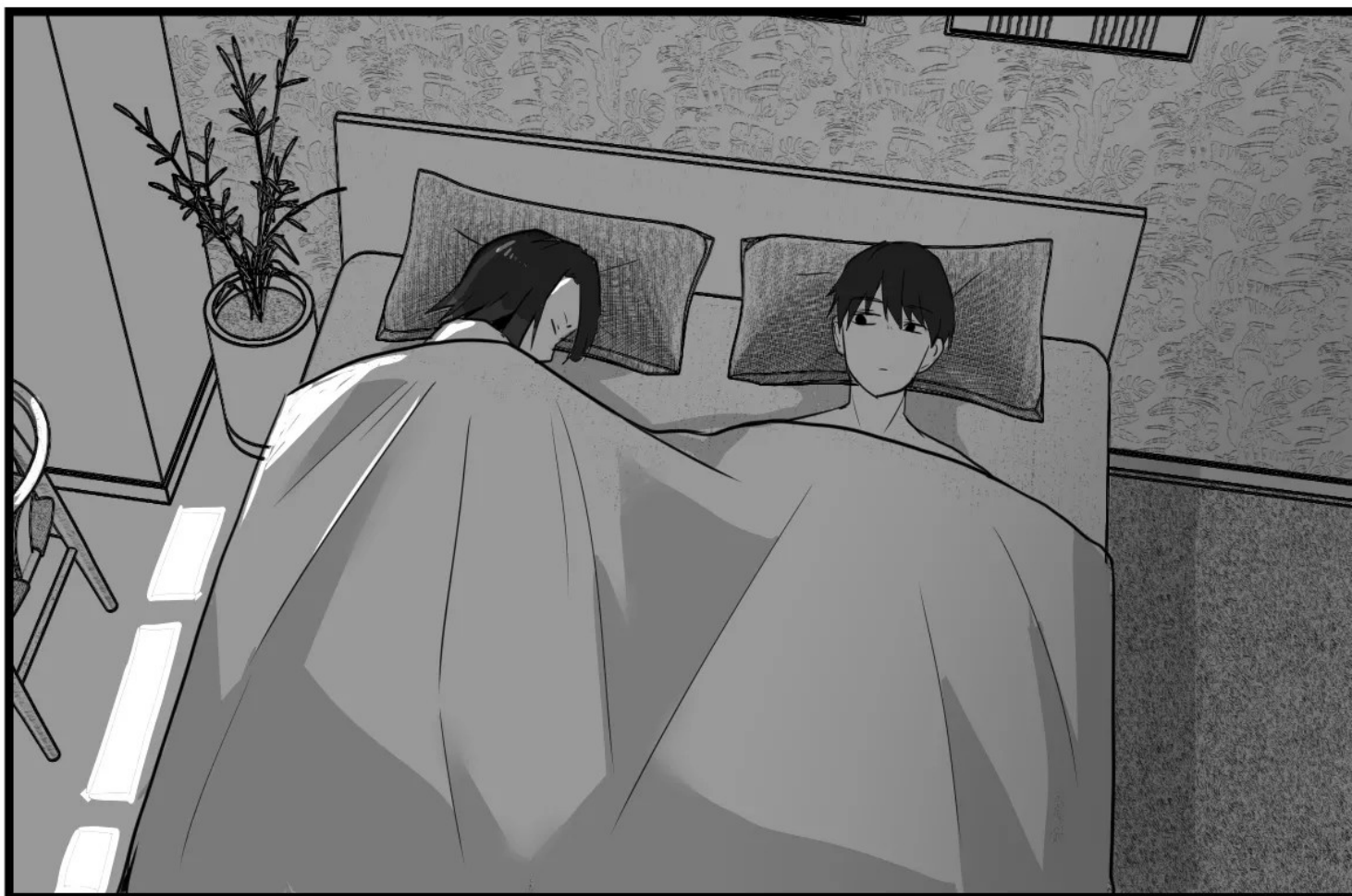
絶頂まんない  
絶頂んないよお♡

正太郎っ♡











橘との会食……  
取引を有利に  
進めるために  
「個人的な関係」を  
攻められて



けど私  
正太郎のこと絶対  
裏切りたくなくて

ギリギリの  
ところで  
逃げてきね…  
だから――

助けて  
正太郎

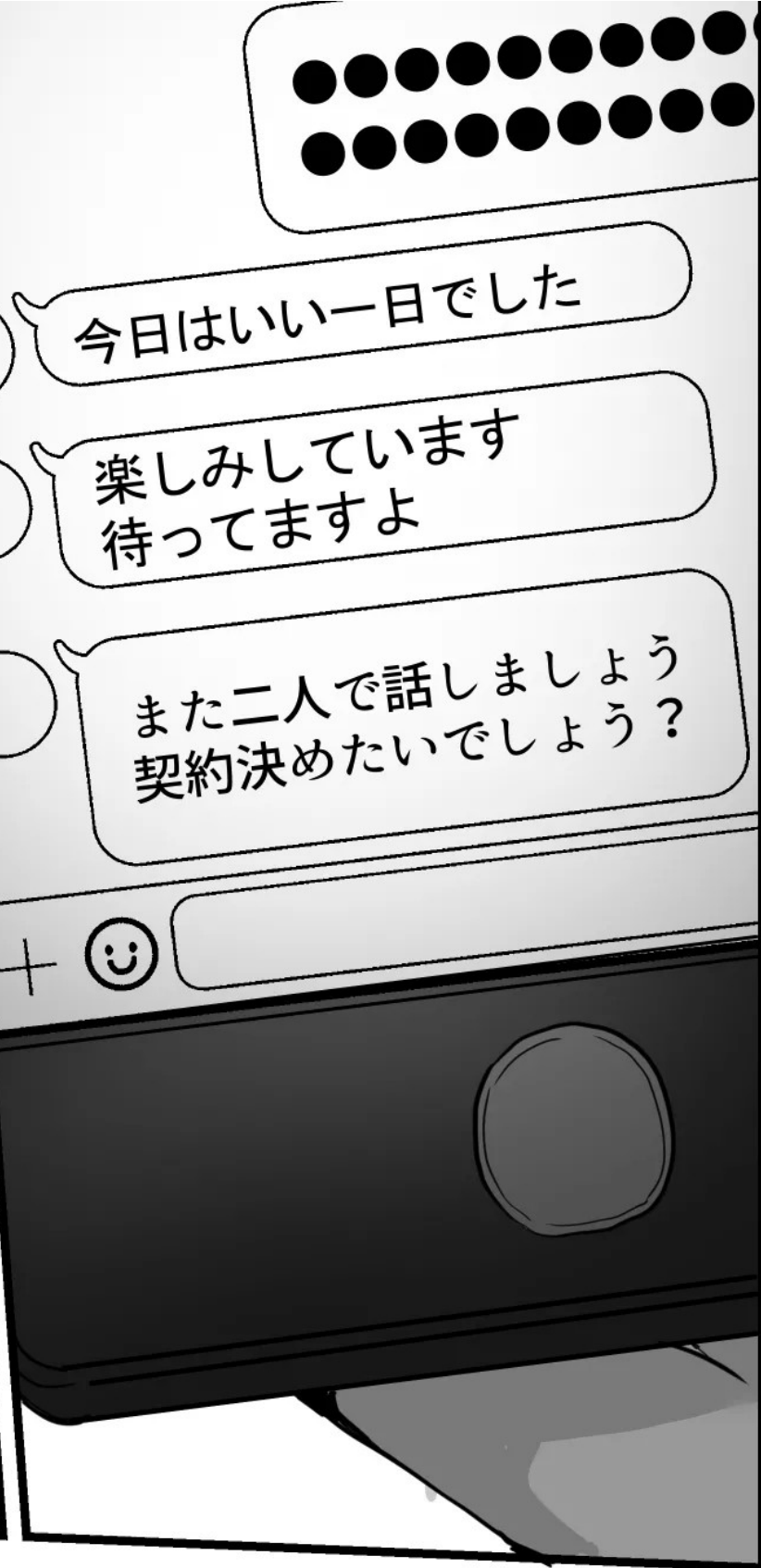
……アイツ  
どこに  
いる？

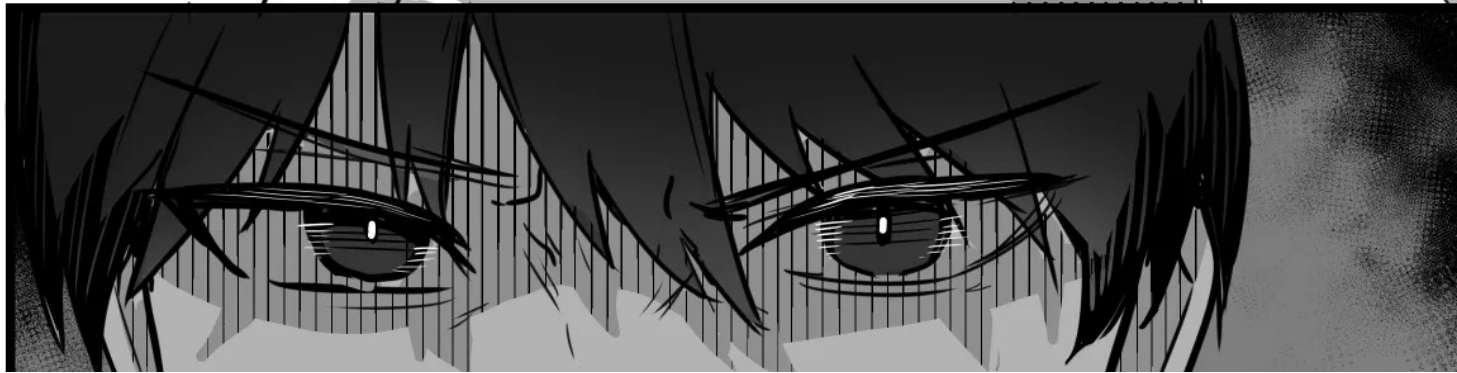
どうしたら  
いいの？

……わからない

LINE  
なら……











女を  
取引材料にする  
んじゃねえ

おお

ガッ

それは  
あなたの価値観  
でしょ？

どうするかを  
決めるのは  
彼女自身では？

ググッ...

お前には  
関係ない  
ってか？

はい

取引とは  
双方のメリットが  
一致することで  
成立するものです

なので――

どなたか  
知りませんが

ゴ  
ゴ  
ゴ

少なくとも  
あなたがここで言う  
筋合いはないでしょう







どなたか  
だつて？

柊は  
俺の婚約者だ!!



……ほう  
それで？

カタ

ゴゴゴ

カタ



くく

はあ

だからといって  
私のビジネスに  
口を出す権利が  
あなたにあると？

私は真紀の重要  
取引先でも  
あるのだよ

はあ

はあ

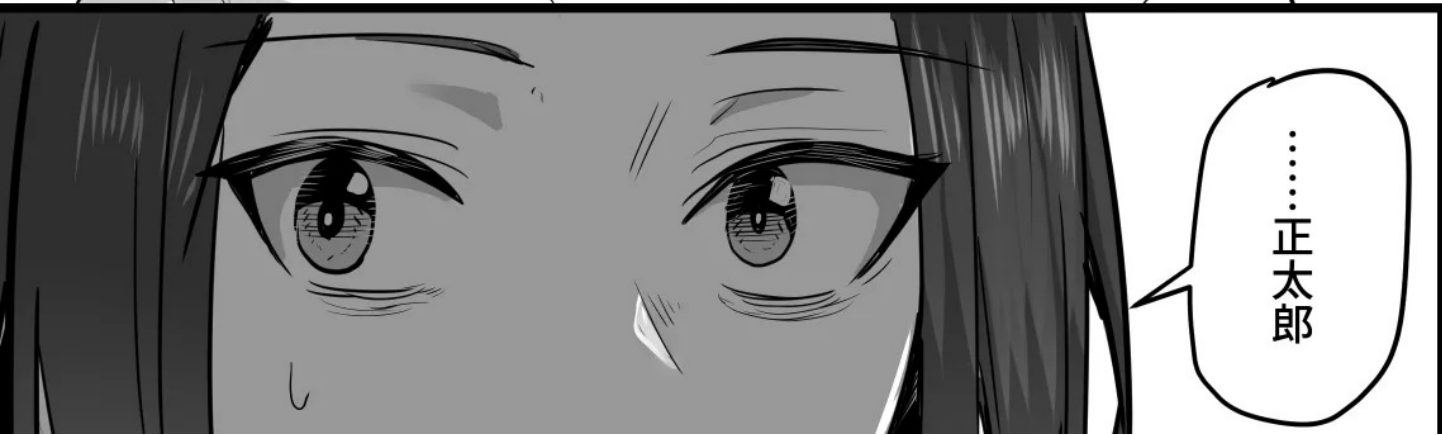






次にお前が真紀に  
何かしたら――

そのときは  
殴るだけじゃ  
済まねえからな



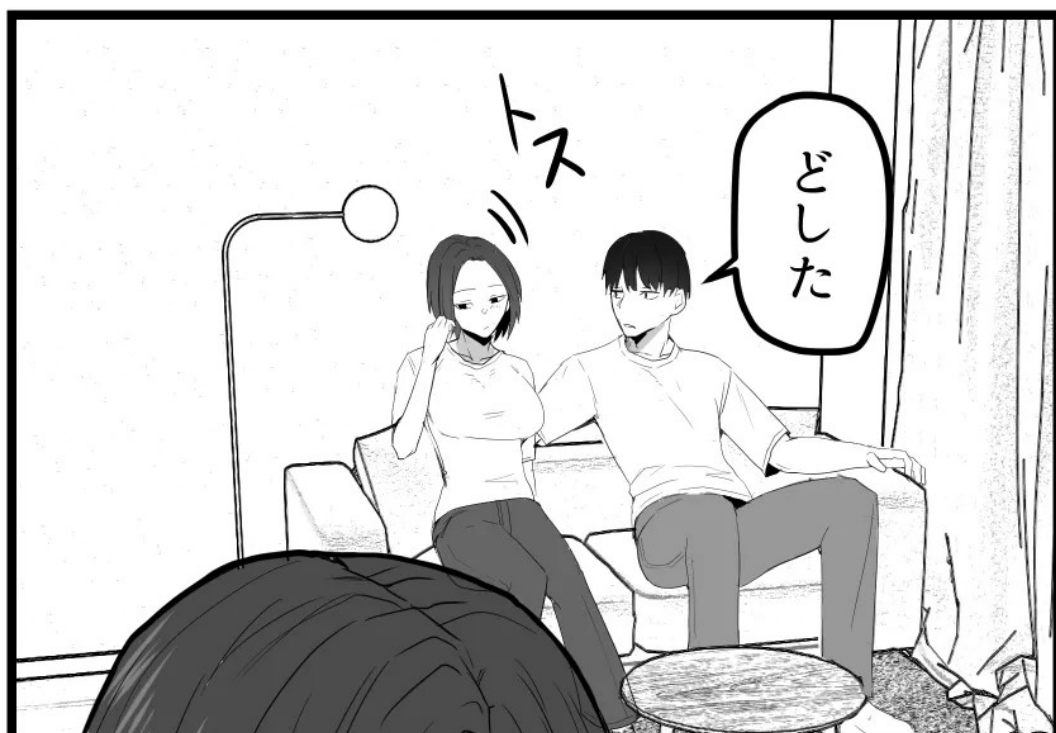
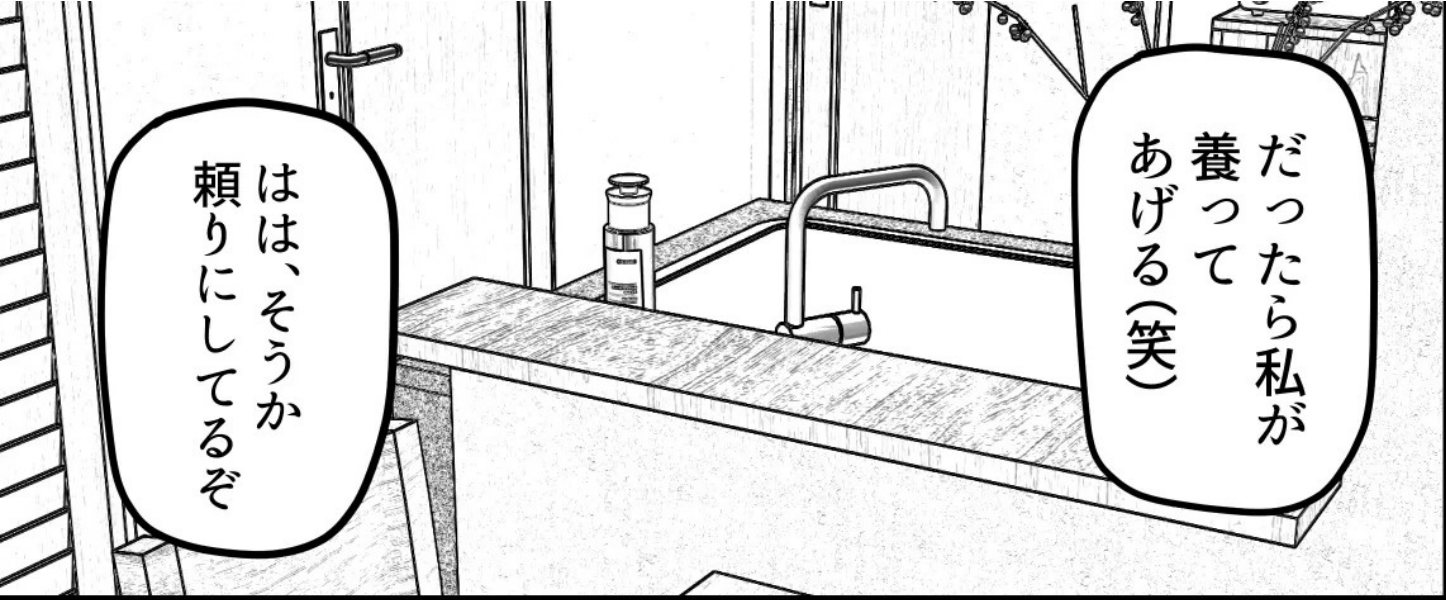


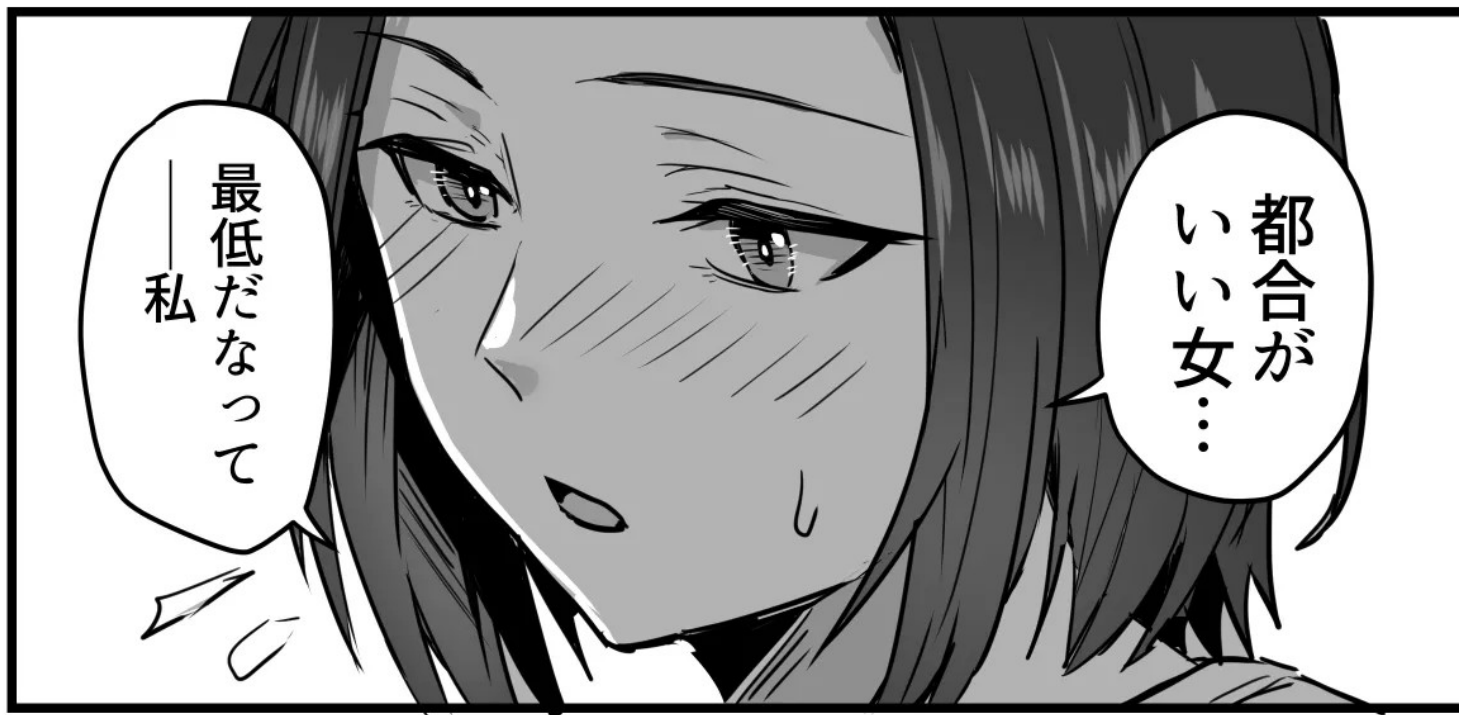
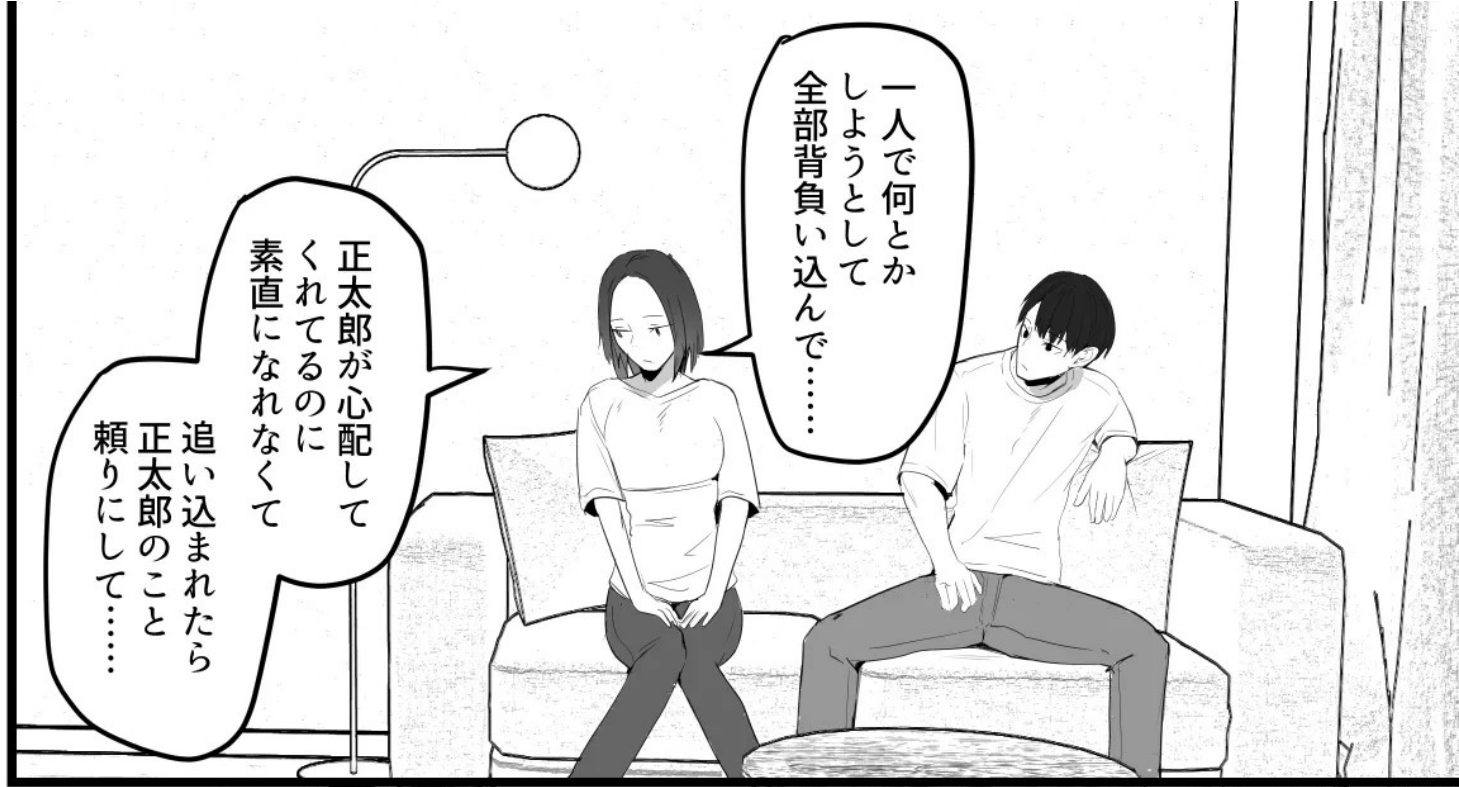
ぶん殴ってきた

会社にバレたら  
クビだな(笑)











だから  
これからは  
ちゃんと頼る

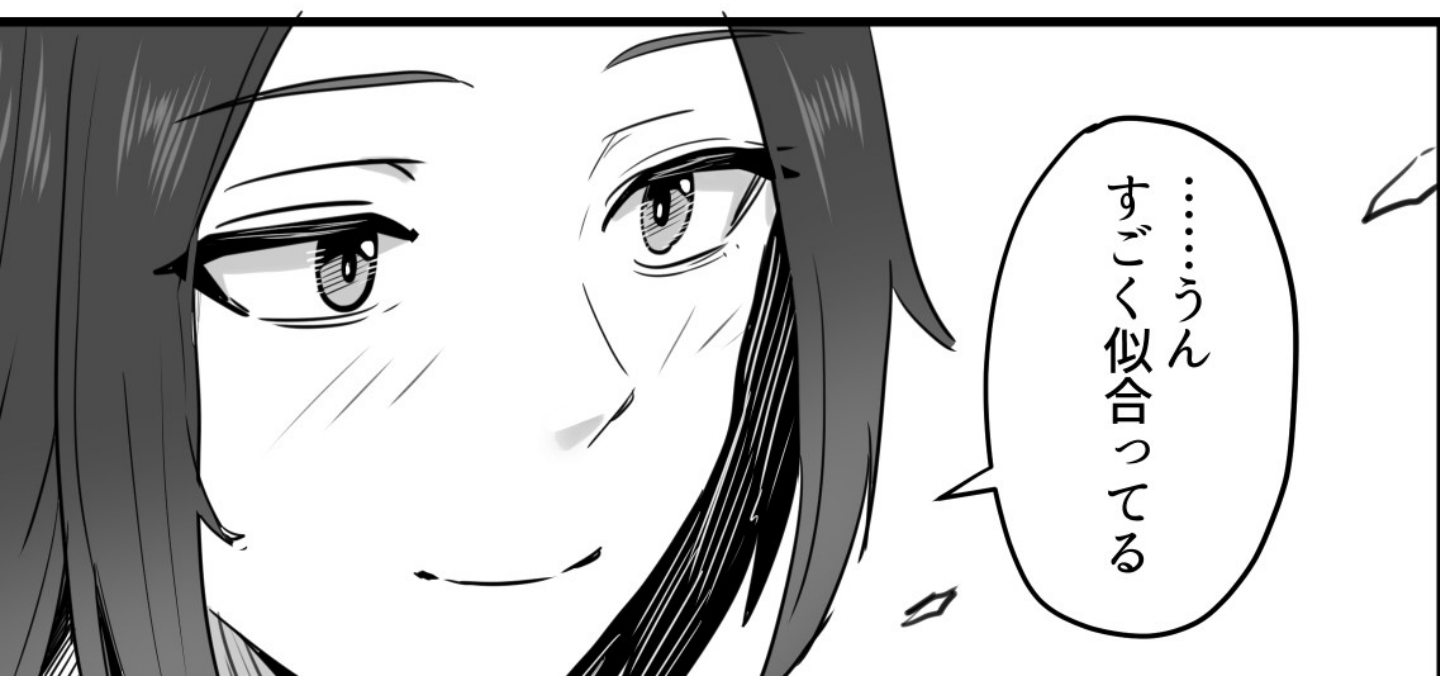
だから  
ごめん

そして  
ありがとう





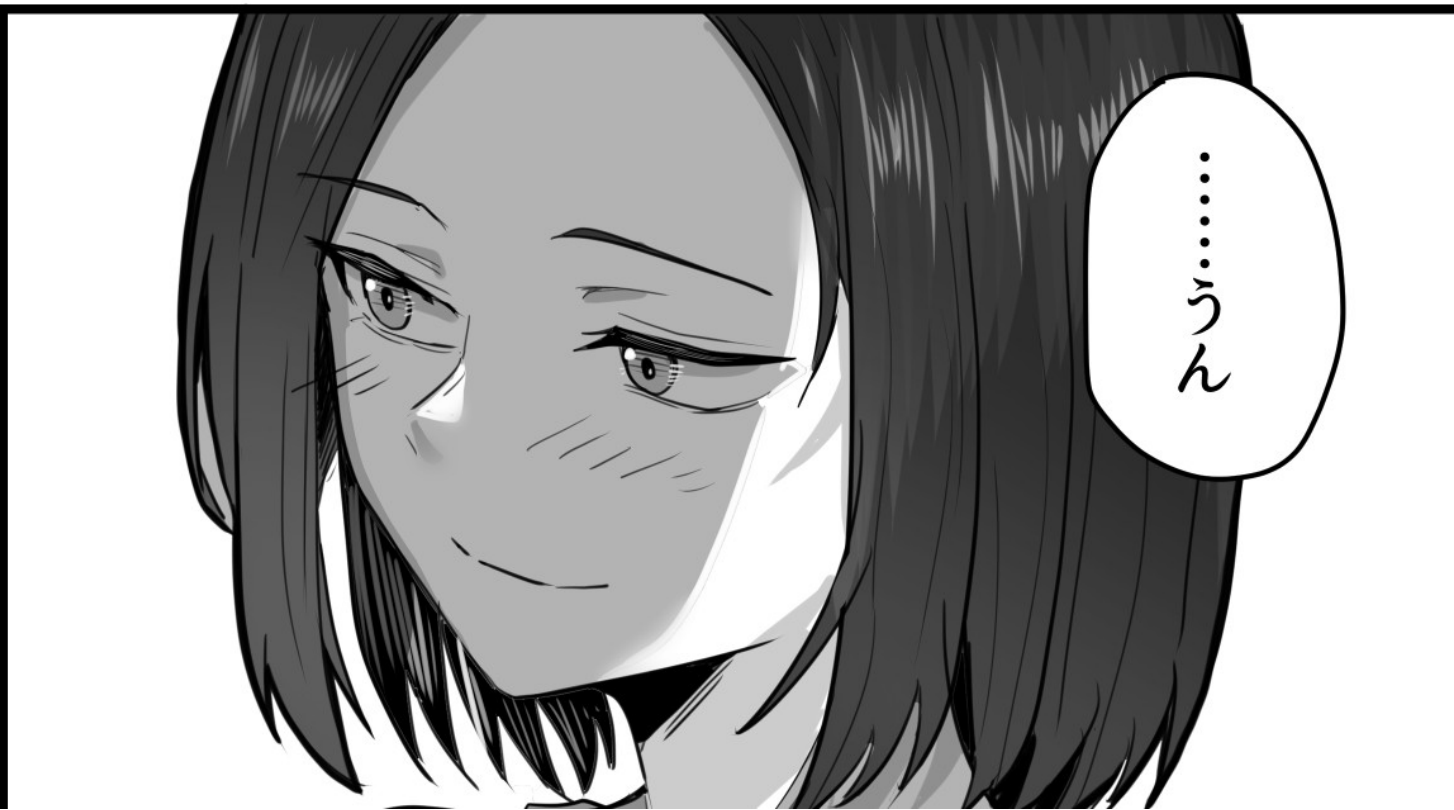






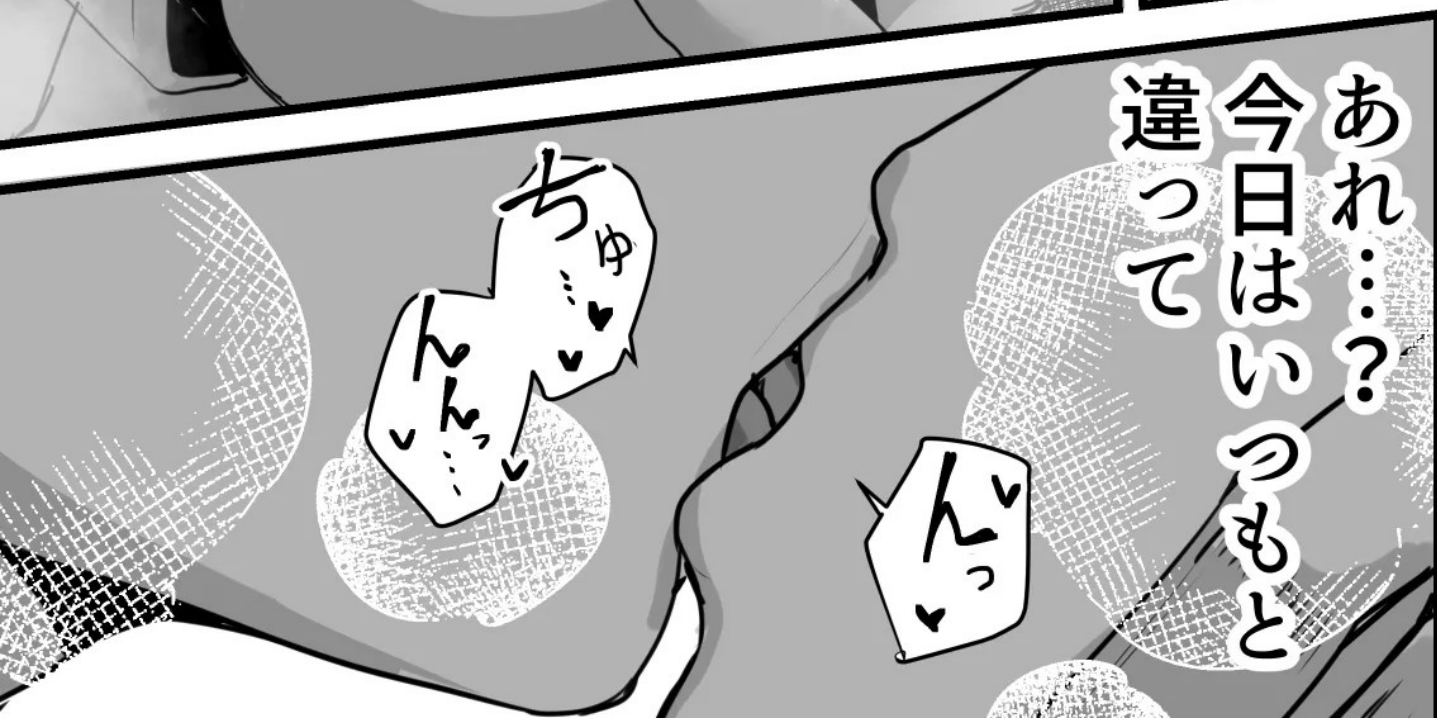
サンキュー

これから  
ちゃんと  
俺を頼れよな



……うん





あれ...?  
今日はいつもと  
違って



頭真なる  
つ  
自由に



おちんちん  
ほしい…

ニクニク♡

ん…

30

ニクニク♡

おちんちん  
ほしい…

おちんちん  
ほしい…

正太郎……

おちんちん  
ほしい…



なんだかも  
体がいつも  
より熱い……

はぁ

はぁ

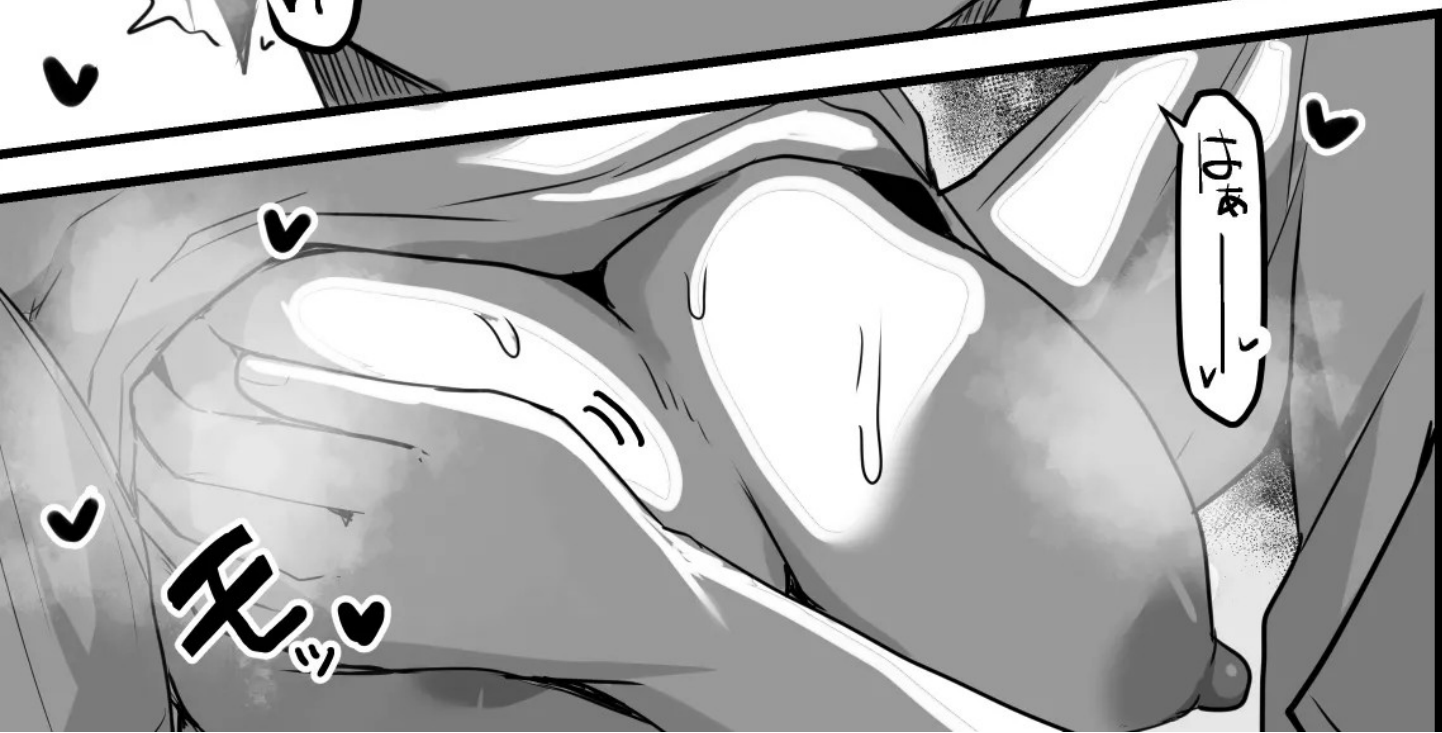
ぱん

はぁ

はぁ

はぁ









真紀…

まい  
まい

正太郎は  
私のおっぱい  
大好きだよね？

いぎゅ

いぎゅ

いぎゅ



真紀、やばい……  
射精する……

いいよ  
口に出して……

正太郎の  
精子飲みたい

しゃべり  
しゃべり

真紀……

それは……っ

はあ

あ……ッ

我慢できない……  
射………

はあ



だめ  
射精だあ

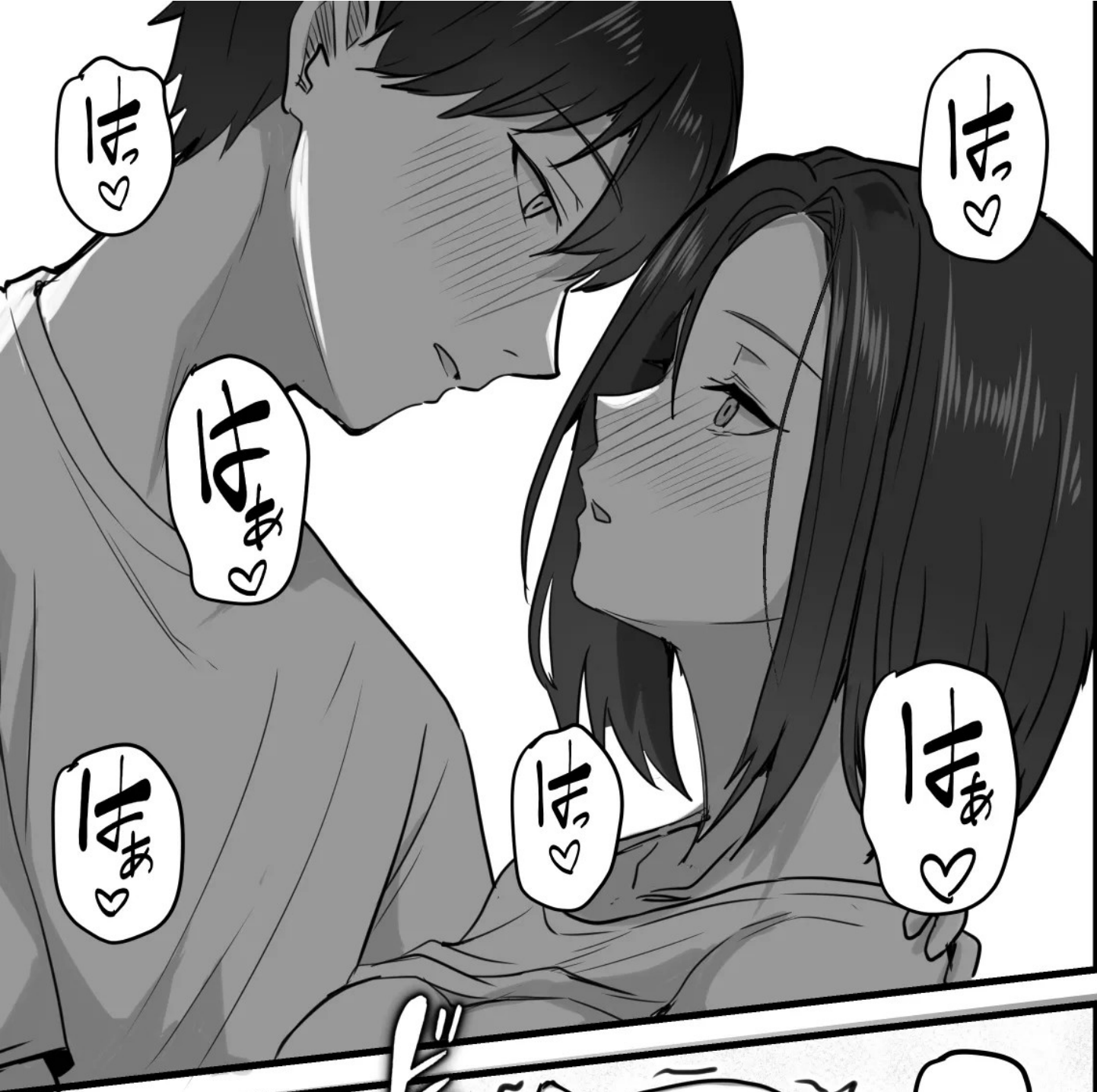
凄い量...

うめ♡♡

ドッ

いつもより  
濃いおちんぽ  
ミルク♡♡♡













ぬちゃっ

ぬちゃっ

はぁっ♡

キス……  
キスしたい……

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

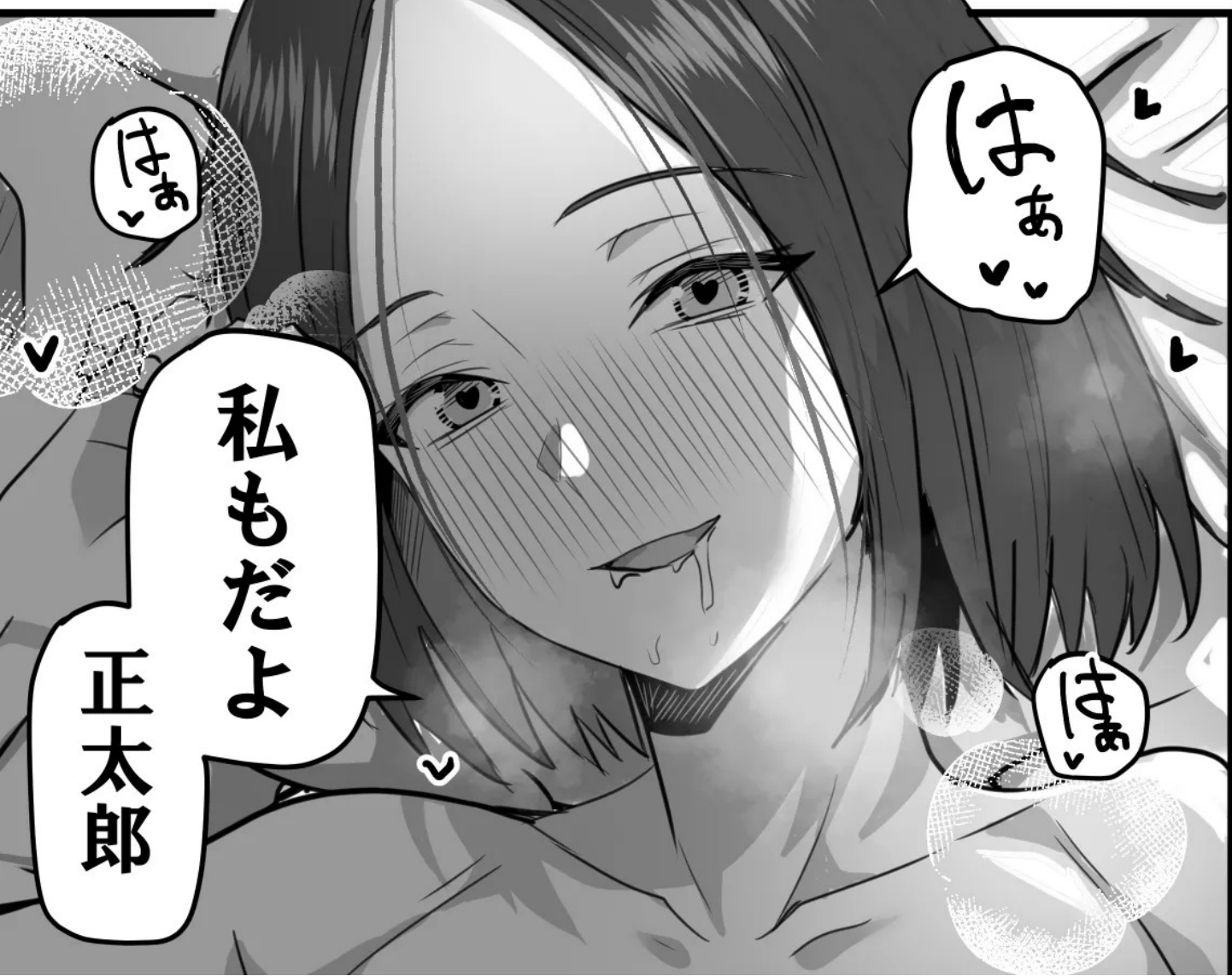
ぬちゃっ

ぬちゃっ

ぬちゃっ

はぁっ♡

はぁっ♡



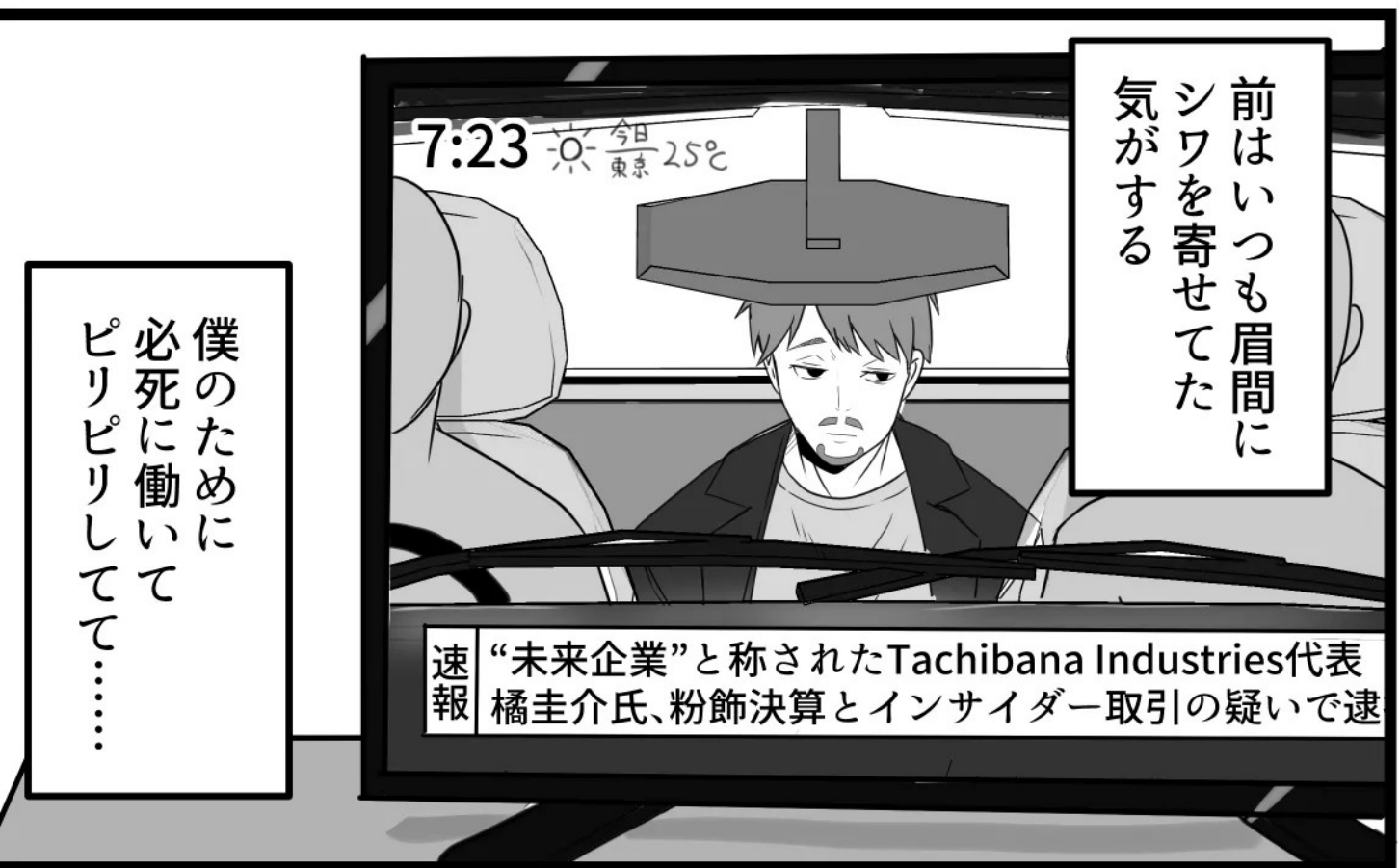






母さんは  
よく笑うように  
なった

おはよう  
勇斗



前はいつも眉間に  
シワを寄せてた  
気がする

僕のために  
必死に働いて  
ピリピリしてて……

速報 “未来企業”と称されたTachibana Industries代表  
橘圭介氏、粉飾決算とインサイダー取引の疑いで逮



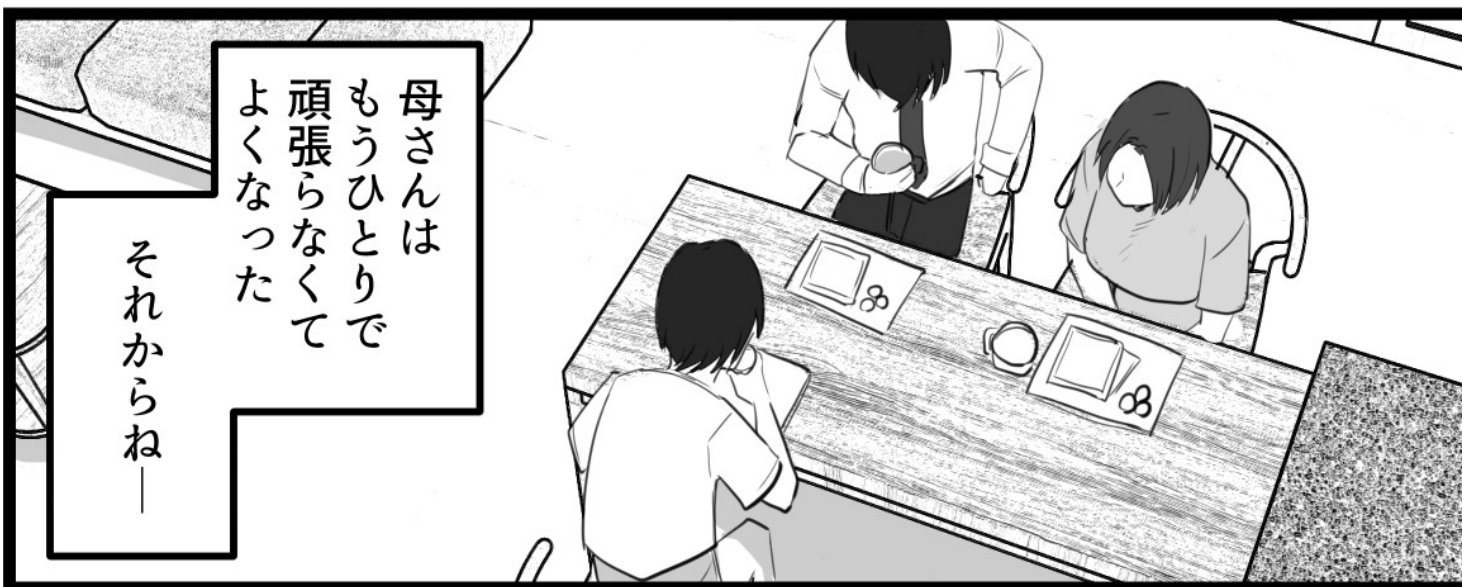
でも  
変わったんだ

正太郎  
お父さんと  
出会ってから



母さんは  
もうひとり  
頑張らなくて  
よくなった

それからね――



この家  
なんかいい  
感じですよ





これが、僕の家族。





## あとがき

このたびはシリーズ第3作目をご購入いただき、誠にありがとうございました。

皆様の応援のおかげで、こうして続編をお届けすることができております。本当にありがとうございます。

今回は、第1作目にも登場した「元夫」にスポットを当てたお話となりました。

主人公・柊は、責任感が強く、他人に頼るのが苦手な女性です。その性格ゆえに、ときに過ちを犯してしまう危うさもあると感じています。

少し寝取られのような展開となり、驚かれた方もいらっしゃるかもしれません。ですが、彼女の葛藤や内面の揺れ動きを丁寧に描くことで、結果的により深い愛情の形を表現できればと思い、このような流れにいたしました。(お気に召さなかったら大変申し訳ないです……)

今後もタイミングを見て、新作をお届けできればと思っております。

もしお時間がありましたら、レビューやご評価をいただけますと、大変励みになります。今後の創作の支えとなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

鬼塚クリス

X : @onioni029029